

街はキャンパス

“カレッジタウン西宮”構想

—行政・大学・市民の連携を生かしたまちづくり—

平成4年3月

西宮市

目 次

はじめに	1
第I章 大学をめぐる今日の状況	
1. 社会的な背景	2
2. 西宮における大学	5
3. 市内大学在学生の意識	7
4. 市民生活とのかかわり	8
5. 大学との連携によるまちづくり	9
第II章 カレッジタウン西宮事業	
1. 基本的な考え方	10
2. 事業の概要	13
第III章 学園都市としての西宮市の課題	
1. ニーズと課題の関連	28
2. 資源と活用方策	29
3. 構想実現へのステップ	33
4. 「出会い 創造 にしのみや」	36
資料編	38

はじめに

今日、大学は、単に地域の高等教育機関としての意味だけではなく、その存在と機能が都市の魅力を高めるものとして評価されている。それは、社会経済環境の変化とともに、市民の需要が多様化、高度化する中において、大学の持つ高度な専門的知識や情報、優れた施設・設備のほか若者の活力が地域で生かされ、地域文化の向上に貢献することが強く期待されているからであろう。

本市においても単に「大学を多く抱えるまち」から、10大学、32,000人の学生、1,000人を超える教員の集積を「貴重な都市の資源として生かすまち」へ、さらに積極的な施策を展開していく必要があると考えている。

こうした視点から、行政・大学・市民（地域社会）三者の連携を深め、“学園都市”としての本市のまちづくりを考えるため、平成3年度に「西宮市大学連携研究委員会」において研究調査を深めてきた。

この報告書は、委員会での協議の中で提案された意見をもとに整理し、並行して実施した学生アンケート調査の結果と合わせ、とりまとめたものである。

この“カレッジタウン西宮”構想に示された内容は“出会い創造 にしのみや”の理念のもと、本市が大学、地域社会、学生それぞれにとって魅力ある“文教住宅都市づくり”をさらに推し

進めようとするものに他ならず、今後の施策推進の中でどの様に展開していくことが可能であるか十分に検討を加えたい。

最後に、関係各分野の立場から終始熱心にご協議いただき、貴重なご意見を賜った委員各位に深く感謝申し上げます。

西宮市大学連携研究委員会委員の構成（50音順）

秋山 喜代子	西宮コミュニティ協会 理事（市民）
荒谷 元	関西学院大学 奨励会代表（学生）
※柿木 健一郎	武庫川女子大学 文学部教授（大学）
河内 厚郎	「関西文学」編集長（地域文化）
高坂 健次	関西学院大学 社会学部教授（大学）
清水 信一	神戸新聞社 阪神総局次長（マスコミ）

※印は、座長

なお、委員会の設置・運営、報告書の作成にあたっては、マーケティングサイエンス株式会社に委託し、実施した。

平成4年3月

西宮市

第 I 章 大学をめぐる今日的状況

1. 社会的な背景

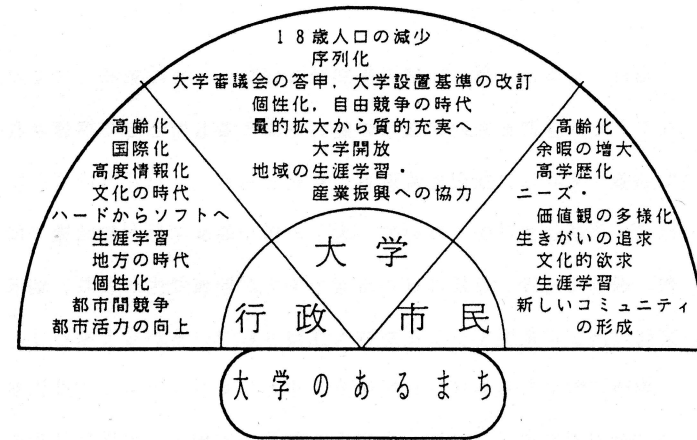
都市の魅力が問われる時代になった。そこに住み、働き、学び、遊ぶ人にとって、より快適で豊かな活動ができる都市に人は集まり、賑わいをつくる。人々の活動の場として選ばれるまちづくりを行うために、都市の資源を生かしアピールすることが、現在、自治体に求められている。

一方、大学においても、18歳人口の急激な減少が進むなか、社会への対応や学生数の確保のために、自己変革が急がれている。大学審議会ですまとめられた高等教育整備計画でも、多様な教育形態・構造の柔軟化、量的な拡大より質的な充実が必要であるとし、生涯学習への対応、地域社会への積極的な貢献が提案されている。

市民生活にとっては、高齢化、余暇の増大にともない、生きがいの追求や生涯学習の場としての新しいコミュニティの形成が、都市の魅力づくりに重要なものとなりつつある。

いわば、住みやすさを競い合う時代を迎え、大学を資源とした、個性的な魅力・活力づくりが求められる時代になったと言えよう。

西宮にはすでに、大学を都市資源とするに足る相当の大学集積と市民の知的欲求がある。



行政・大学・市民の連携により、これまでの単に「大学を多く抱えるまち」から『都市の資源として大学を生かすまち』へ、都市の魅力づくりを促進することが、西宮であるからこそ可能であり、特に、以下のような都市の魅力向上を図ることが期待できる。

- ◆大学があるから、時代の要求を先取りすることができる
⇒ 先進性
- ◆大学があるから、まちの多様な可能性を発見することができる
⇒ 発展性
- ◆大学があるから、広くて豊かな交流を深めることができる
⇒ 親密性
- ◆大学があるから、市民生活を快適なものにすることができる
⇒ 快適性
- ◆大学があるから、市民文化の質を高めることができる
⇒ 品位性

行政・大学・市民各者の現状から、「わがまちの大学」を核としたまちづくりの取組みが各自治体でなされている。大学を地域振興の中心に据えることで、地域の高等教育需要の充足、人材の育成、高等研究・教育機能の活用、地域経済の活性化、地域のイメージアップ等のさまざまな効果が期待されるため、各地で大学の誘致、既存大学との連絡・連携が行われている。

大学の誘致に対しては、土地や資金の提供等多額な財政的負担を行政が負っているケースも見られるが、単なる誘致に終わることなく、大学をまちづくりに生かす長期的な視点が求められる。

一方、すでに大学が多く立地する都市では、大学との連携を図り、さまざまな取組みが行われている。(次頁参照)

こうした各都市での対応がなされるなか、すでに伝統ある大学が多く立地する本市においても、『西宮市新総合計画』に掲げた「活力とうるおいのある文教住宅都市」をめざした施策の一環として、大学と連携したまちづくりの具体化を図る時期を迎えている。

大学・短期大学の都市比較(平成元年5月1日現在)
 ※人口40万人以上、学校総数10以上の都市
 ※千葉市については平成3年度データ参考

都 市 名	大学・短大 学 校 数	学 生 数	人口千人当 たり学生数
西 宮 市	10	31,825	77.3
八 王 子 市	20	81,399	185.6
京 都 市	37	132,659	93.8
千 葉 市	35	59,917	73.0
福 岡 市	20	74,784	64.0
東 京 都 区 部	127	479,142	59.2
仙 台 市	16	43,025	49.0
岡 山 市	11	25,850	44.0
熊 本 市	10	25,612	42.2
神 戸 市	26	58,938	41.3
広 島 市	20	41,380	39.4
金 沢 市	10	15,972	37.3
名 古 屋 市	35	77,688	37.0
長 崎 市	11	14,286	32.2
札 幌 市	21	46,468	28.9
北 九 州 市	15	22,790	22.1
大 阪 市	19	43,481	17.1
横 浜 市	22	49,171	15.6

印 大字制市会済南准理列会研成市

ここでは、行政が積極的に大学との連携に取り組んでいる事例として八王子市と京都市の概要を紹介する。

①八王子市

昭和52年、16大学が立地していた八王子市は、創造的な学園都市の形成を目指して、大学・市・市民三者による「八王子市学園都市協議会」を設立した。さらに昭和55年には、学園都市づくりの事業実施組織として「八王子市学園都市推進会議」を設置し、数々の事業を実施している。

また、平成元年度からの10ヵ年計画である「八王子市基本計画」の中に「学園都市づくり」の1章を設け、「学習・文化環境等の充実、学園都市センターの建設、大学と地域等の連携・交流の強化、活気ある学園都市の創造」を施策体系として盛り込んでいる。現在、大学は20、学生数は9万人を数える。

②京都市

昭和60年に策定された「京都市基本計画」では、大学・学術研究機関を市の学術研究都市としての基盤と位置づけ、その拡充・整備を促進するための施策の方向づけを行ってきた。

京都市内には、現在36の大学、13万人を超える学生が集積しているが、近年大学の市外流出が相次ぎ、市の学術研究機能への影響が懸念されるようになった。このため、京都の学術研究機能の向上、文化教育環境の充実を図るため、昭和61年に市と市内大学の事務局長による「京都市・大学事務連絡協議会」を設置し、大学を生かした都市活性化の取り組みを行っている。

大学を核にした主な取組事例

主 な 取 組	事 例 都 市 名
大学の誘致・助成	
◆日本の大学誘致—土地提供、建設費助成、都市基盤整備等	姫路市、石巻市（宮城県）他
◆海外の大学誘致—土地提供、建設費助成、都市基盤整備等	中条町（新潟県） 郡山市（福島県）他
既存大学との連携	
◆大学との連携推進組織の編成—行政+大学+経済団体	金沢市、八王子市、京都市他
◆大学の公開講座の推進	八王子市、京都市他
◆受験生・学生向けパンフレットの作成	八王子市、京都市他
◆学生団体の文化事業、学生まつり等への援助	京都市他
◆まちづくりフォーラム、シンポジウムの開催	福岡市、日立市他
◆まちづくりへの学生参加促進	飯塚市、八王子市他
◆市長・企業トップ・大学教授を講師にむかえた講座開催	福岡市、北九州市他
◆留学生を集め、街の国際化を推進（意見交流会等）	高崎市、荒川区他
◆大学を核にした再開発事業 民間開発者、大学当局と協力	文京区 （茗荷谷、教育の森公園周辺）

2. 西宮における大学

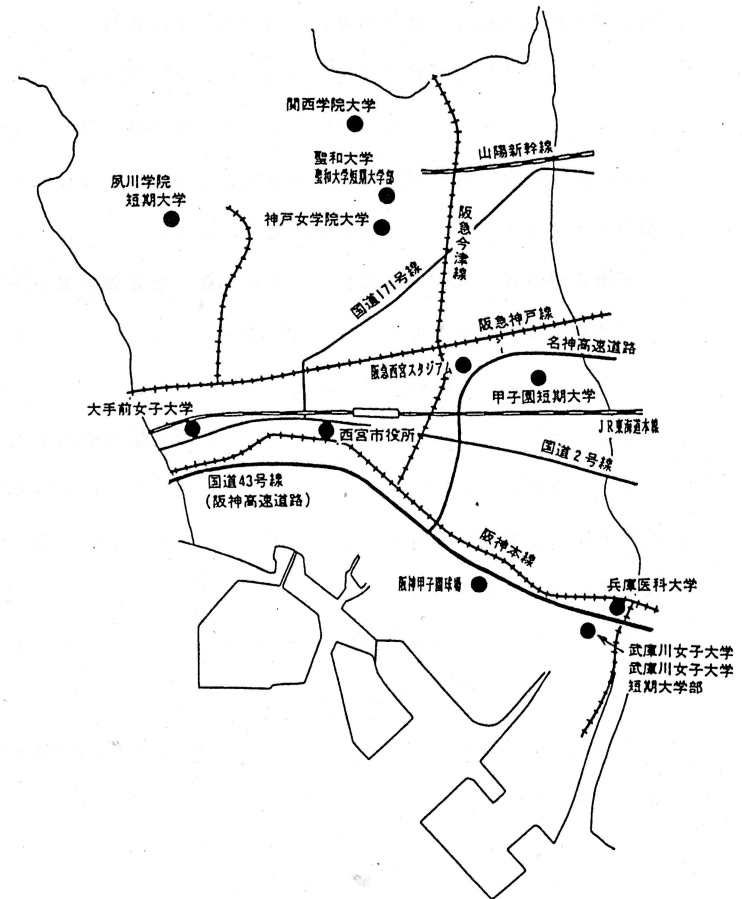
“恵まれた自然環境と交通の至便さを備え、阪神都市圏の文教・住宅・レクリエーション機能を担うまち”西宮市は、古くは宿場町として栄え、江戸時代には宮水の発見と、西宮港を擁するという立地条件の良さから、酒造業をはじめ商業の町としての性格を担うようになった。さらに、明治、大正期に入ると鉄道の整備を契機とし、自然環境に恵まれたこともあって、香櫨園、甲子園をはじめとする住宅や各種レクリエーション施設の開発がなされ、市街地が徐々に拡大し、都市形態も大きく変化してきた。

さらに、昭和初期以来、伝統を誇る各大学が良好な教育環境を求めて相次ぎ立地し、本市は大阪・神戸の近郊住宅都市、文教都市としての性格を強めてきた。

また、関西学院などの大学4校、高等学校3校、中学校3校、小学校2校が立地する上ヶ原地区は、景観に優れた理想的な学園地区の条件を備えているとして、昭和33年9月建設省告示により国立地区に次いで関西では初めて第1種文教地区に指定された。

近年、地域振興の目玉として大学の誘致が各自治体に注目され出してきたが、本市の場合、行政の積極的な意図よりも、高等教育機関としての大学の設置にふさわしい諸条件に恵まれていたことが多くの大学の立地要因となった。

市内大学・短期大学位置



本市には、現在6つの大学と4つの短期大学が立地しており、大学の教員数1,083人、学生数23,976人、短期大学の教員数258人、学生数8,491人、合計教員数1,341人、学生数32,467人を有する。また、校地総面積は853,517㎡と市の都市部の約1.7%を占めている。さらに、人口1,000人あたりの学生数は78人と東京都区部を上回り、京都市に匹敵する規模である。これらの大学を都市の資源と見た場合、全国有数の資源となる。

本市の場合は、行政の各種審議会や委員会、社会教育関係等に各大学の教員の参画を得ており、救急医療・高度医療体制の整備にあたっては、兵庫医科大学に「阪神地区救命・救急センター」を併設するなど、地域問題等の解決に少なからず協力を得ている。

また、現在公開講座（平成2年度現在、47講座、延べ受講者数約15,000人）や施設開放等の取組みがなされているが、さらに進んだ全市的な取組みが望まれる。

今後、大学当局・学生・市民の協力を得ながら、大学と連携したまちづくりを積極的に展開することを通じて、大学・学生・市民それぞれにとって魅力ある“文教住宅都市づくり”の方向をめざす必要がある。

市内大学・短期大学の教員数・学生数・面積一覧

大 学 名	教 員 数	学 生 数	面 積 (㎡)
関 西 学 院 大 学	286	13,880	244,810
神 戸 女 学 院 大 学	91	2,211	113,328
武 庫 川 女 子 大 学	242	4,680	239,558
聖 和 大 学	25	482	38,724
大 手 前 女 子 大 学	61	2,067	46,444
兵 庫 医 科 大 学	387	656	100,727
小 計	1,083	23,976	783,591
武庫川女子大学短期大学部	116	4,725	(239,558)
聖和大学短期大学部	30	794	(38,724)
甲子園短期大学	40	859	17,484
夙川学院短期大学	72	2,113	52,442
小 計	258	8,491	69,926
合 計	1,341	32,467	853,517

(教員数・学生数は、平成3年5月1日現在)

3. 市内大学在学生の意識

平成3年10月に『大学生生活と西宮に対する意識についてのおたずね』という調査を関西学院大学、夙川学院短期大学、武庫川女子大学を対象（サンプル数 379人、資料編参照）に行った。

西宮市に対する意識（「西宮市に住み続けたいかどうか」「西宮市に今のままあるいは変化のどちらを望むか」）によって、分類すると、西宮市に対して肯定的な学生（肯定派37.5%）と否定的な学生（否定派34.0%）の2つのタイプに大きくわかれた。

肯定派に4年生、阪急利用者が多く、対照的に否定派に1年生、阪神利用者が多く見られたが、肯定派には、通学時間30分圏内の居住者も多いことから、市へのなじみの深さと肯定傾向には関連のあることが推察される。

また、西宮市に対する文化的なイメージでは、肯定派と否定派で評価の格差が著しく大きい。肯定派では63%が、西宮は「文化度が高い街」だと答えており、彼らにとって西宮市・阪神間は、関西で最も文化度の高い地域の1つであると考えられる。このことから西宮市の文化的なポテンシャルをさらに引き出すことが望まれる。

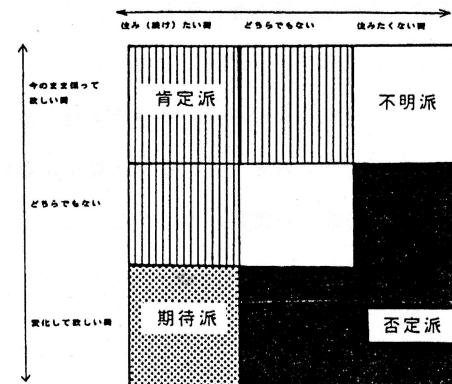
さらに、「特に、西宮に欲しい施設」としては、「学生が利用する飲食店街」「映画・美術・コンサートホール」「さまざまな

学生割引」「本屋・古本屋街」「若者のファッション街」などがあがっており、学生の意識のうえでも学生街＝若者の街としての西宮市の活性化や施設開発が望まれている。

また、各大学間、大学と地域との連携に対しては、「他大学の講義への参加意向」「他大学講座の単位認定に賛成」「図書的一般貸出に賛成」「施設の一般貸出に賛成」「講義への市民参加に賛成」「社会人講師講座への参加意向」「大学行事の市民参加に賛成」「10大学合同イベントに賛成」をはじめとして全般的に賛成の意向が強い。

以上の学生意識調査から、大学との連携を中心とした西宮活性化の取組は、学生にとっても関心が高く、期待も大きいと考えられる。

■西宮市についての意識



4. 市民生活とのかかわり

生きがいの追求、生涯教育への要望が高まるなか、大学への市民の期待が集まりつつある。

西宮市は、平成2年度に、「西宮市生涯学習市民意識調査」を行った。その中で、「公立の文化、スポーツ、集会などの施設の充実」「大学施設の開放」等が挙げられており、大学への市民の期待も強い。

また、「これから新たにしてみたい」ことがらは何かという質問に対して、「環境保全の活動（川を美しくする会など）」「社会福祉活動（福祉ボランティアなど）」「社会奉仕の活動」「地域社会や郷土の歴史など」と社会的奉仕に関するものに対するニーズが高い。

一方、「かつてしたことがある」ことがらの上位は、「茶・華道など」「野外活動（釣り、ハイキング、キャンプなど）」「和・洋裁、着付け、編み物、手芸、作法など」「スキー、水泳、マラソン、ジョギングなど」となっている。

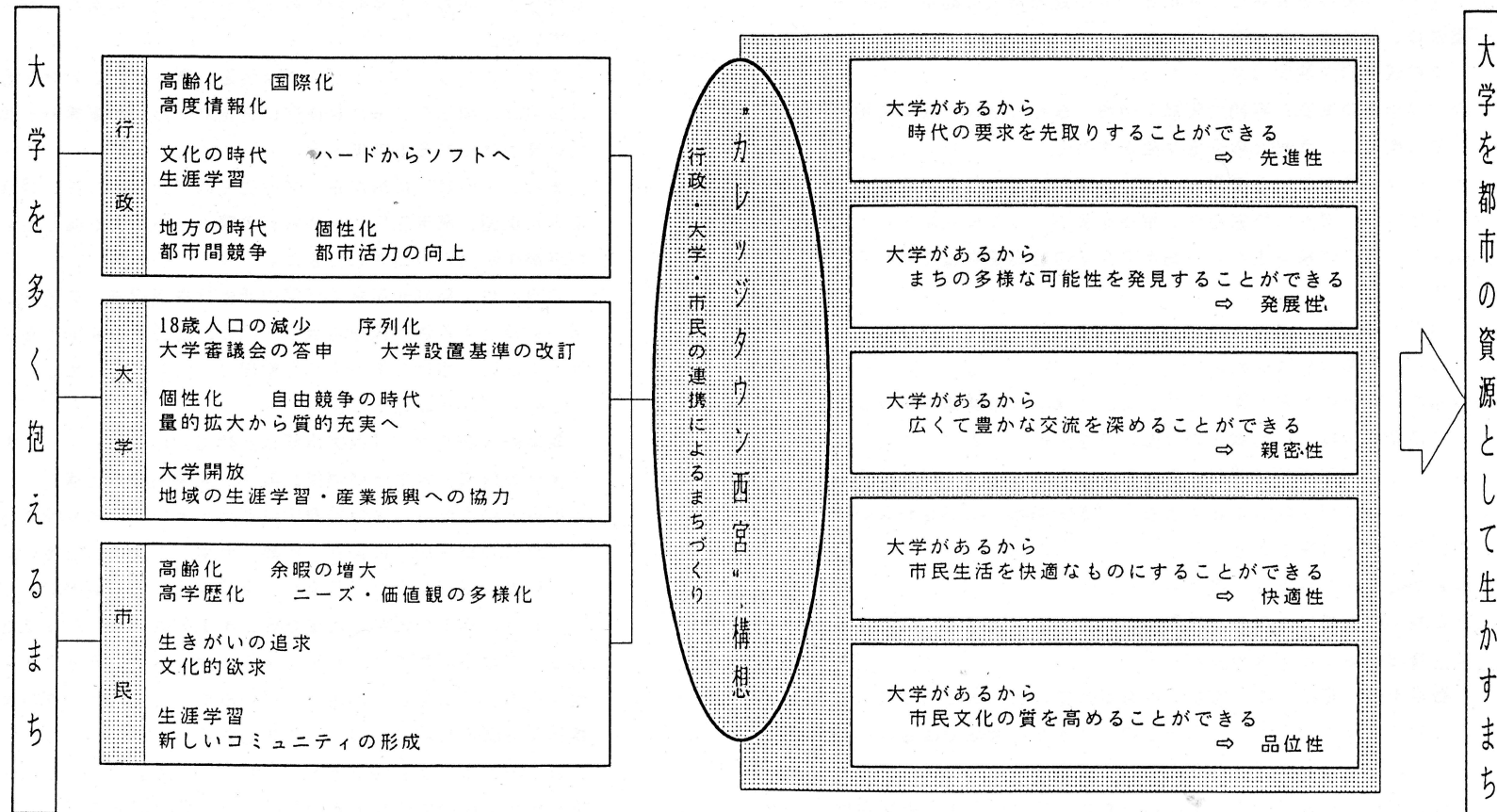
「かつてしたことがある」や「今も続けている」ことがらの多くは、レジャー、スポーツ、野外活動や、習い事といわれるような、娯楽や生活上の実益につながることが多い。それに対して、「これから新たにしてみたい」ことがらは、自分個人の楽しみや

利益よりも、自分をとりまく地域や社会への貢献を重視した活動への参加意向へと価値観の変化や社会意識の高まりが見られる。こうした分野の活動を生涯学習を通じて展開するためには、大学の学術的な専門性や行政の公共的な立場からの支援が必要である。

このような市民の大学への期待と、生涯学習への意識の高まりを受け、行政・大学が市民と連携し、生涯学習を単なる余暇活動的なものから、生きがいや社会への貢献へと高め、さらには学生の参加も得た全地域的な活動へと展開する必要がある。

なお、「平成4年西宮市民意識調査」（平成4年1月実施）では、『市民と大学について』の項目を設け、大学・学生が多くいるまちの印象、大学・学生に対する要望、大学との連携によるまちづくり等についての質問を行っている。大学の存在へのより今日の期待が示されることも予想されるところである。

5. 大学との連携によるまちづくり



第Ⅱ章 カレッジタウン西宮事業

1. 基本的な考え方

本市が行政・大学・市民の連携を推進し、単に「大学を多く抱えるまち」から「大学を貴重な都市の資源として生かすまち」へと積極的な施策を展開し、都市としての魅力向上を図ることの必要性は、既に述べたとおりである。

その具体的な展開にあたっては、

- ▷ 大学が持つ高度な専門的知識や情報、優れた施設・設備を地域にも開放し、市民との交流に生かすこと
- ▷ 多様化・高度化する市民のニーズや都市課題に対応するため、大学の持つ優れた研究機能・情報をまちづくりに生かすこと
- ▷ 10大学の集積を生かし、個々の大学の魅力をさらに高めること
- ▷ 数多くの学生・若者の存在が、地域経済の活性化と結びつくように、まちの魅力を創出すること
- ▷ 学生・若者のエネルギーを生かし、イベントの開催やボランティア活動を促進し、地域とのつながりを深めること
- ▷ 大学周辺の都市基盤整備を進めるとともに、キャンパスのうるおいある景観を育むことにより、“学園都市”にふさわしいまちづくりを目指すこと

などが必要な視点として挙げられる。

これらの方向につながる施策・事業を、大学・市民の協力を得て、推進することが求められる。

西宮市は、昭和46年に総合計画を定めて以来、個性的で魅力あるまちづくりに力を注ぎ、発展を続けてきた。近畿で最も住みやすい都市のひとつに挙げられる本市の資産をさらに豊かにはぐくみ、次の世代へと引き継いでいくことをめざして、『西宮市新総合計画—活力とうるおいのある文教住宅都市をめざして—』は、昭和

61年度から10ヵ年のまちづくりプランとして策定された。新総合計画は、それまでの「文教住宅都市建設」という基本目標を継承しつつ、「活力とうるおいのあるまちづくり」に新たな重点を置いている。

本章で述べる「カレッジタウン西宮」事業は、この新総合計画に盛られた構想をさらに具体的に実現するための事業の一環として位置づけられるものである。

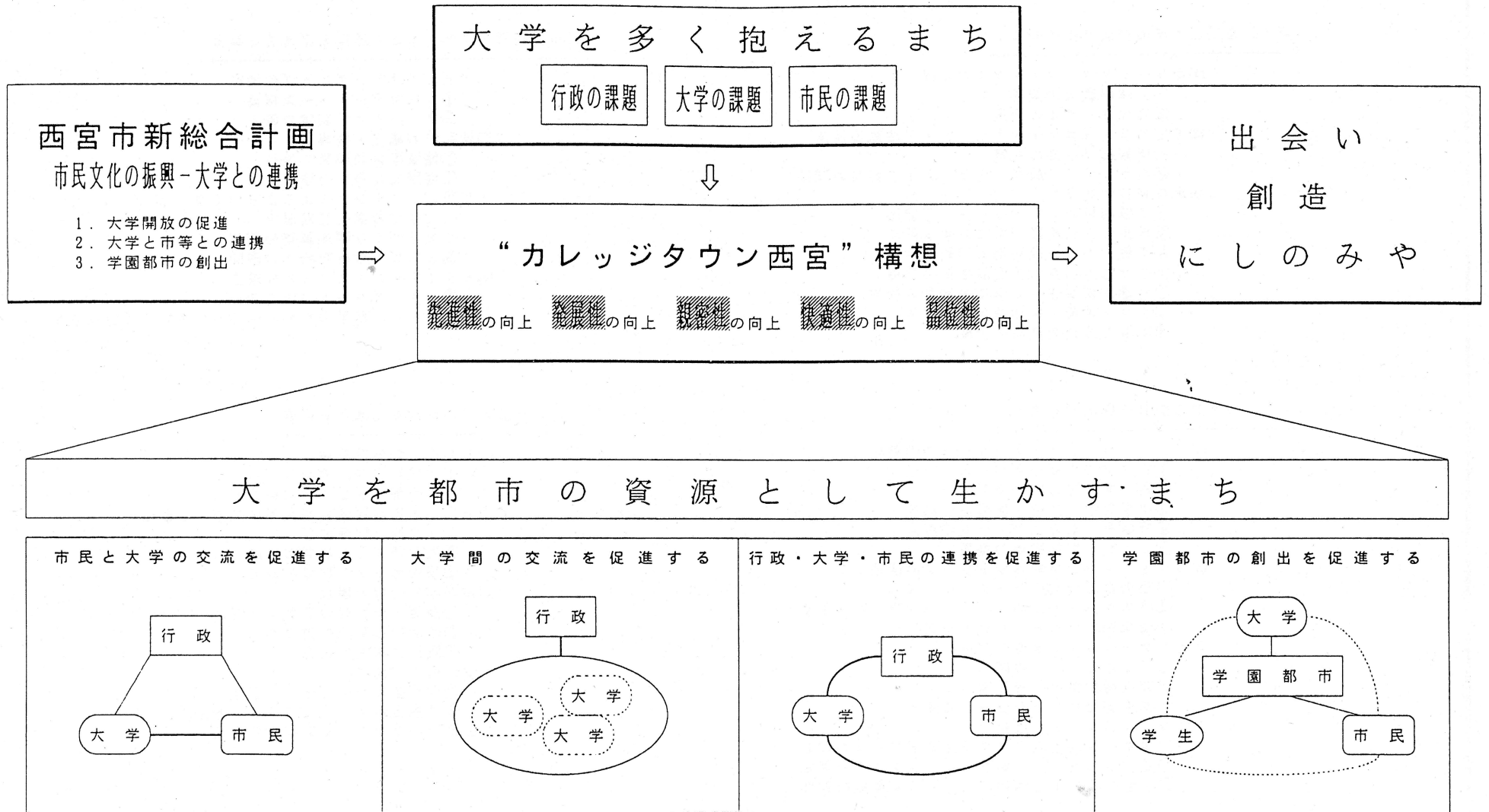
また、本市は、従来から「文教住宅都市」として高い評価を得てきた反面、都市生活に求められる華やぎや活力を醸し出す交流の場が少ないと指摘されてきた。

このため、平成元年度に「都市活性化構想調査」を実施し、本市が目標とする都市像を実現するため、各分野の事業・施策を総合的に統括・実行していく“行動理念”として、『出会い 創造にのみや』を設定した。

具体的な事業は、「西宮市新総合計画」に定める、V-1『市民文化の振興—大学との連携』の「1.大学開放の促進」「2.大学と市等との連携」「3.学園都市の創出」という計画の枠組みの中で、行政の働きかけにより、行政・大学・市民の『出会い』を図り、「カレッジタウン『西宮』」を『創造』するものである。

これは、本市が大学、地域社会、学生それぞれにとって魅力のある“文教住宅都市づくり”をさらに推し進めようとするものに他ならず、“出会い 創造 にのみや”のまちづくりの理念の具体化を図るための一つの試みでもある。

以上のような基本的な考え方にたち、「カレッジタウン西宮事業」として次のような事業の展開について検討する。



〔Ⅰ〕 市民と大学の交流を促進する事業

- (1)カレッジタウンフォーラムの開催
 - ①公開討論会の開催
 - ②文化サークルの発表
- (2)学生のコミュニティ・ボランティア活動の促進
 - ①情報提供活動の充実
 - ②ボランティア講座、ボランティア実習の開設
- (3)施設開放の促進
 - ①地域施設のネットワーキング促進
 - ②学生の文化施設利用に対する助成
 - ③市民の大学施設利用の可能性検討
- (4)留学生・地方出身学生交流事業の促進
 - ①外国人留学生への奨学金制度の検討
 - ②タウン情報・生活情報等の提供
 - ③地域との交流事業の企画

〔Ⅱ〕 大学間の交流を促進する事業

- (1)カレッジタウンセミナーシリーズの創設
 - ①各大学の講座相互乗り入れ促進
 - ②各大学参加の共同講座開設
 - ③市民参加、単位・資格認定制度
 - ④冠講座・新カリキュラムの導入
 - ⑤セミナー開催拠点の整備
- (2)カレッジタウン情報ネットワークの構築
 - ①都市資源情報のデータベース構築
 - ②情報ツールの活用（パソコン通信・CATV）
 - ③情報施設のネットワーキング
- (3)インターカレッジ事業の開催
 - ①フェスティバルの開催
 - ②交流活動拠点・練習場づくり
 - ③学生支援ガレージセール開催
- (4)カレッジタウンPR活動
 - ①学生・受験生向けタウンガイドブックの作成
 - ②受験生のための大学ウォッチングツアー実施
 - ③学生の手による情報誌・CATV番組の制作

〔Ⅲ〕 行政・大学・市民の連携を促進する事業

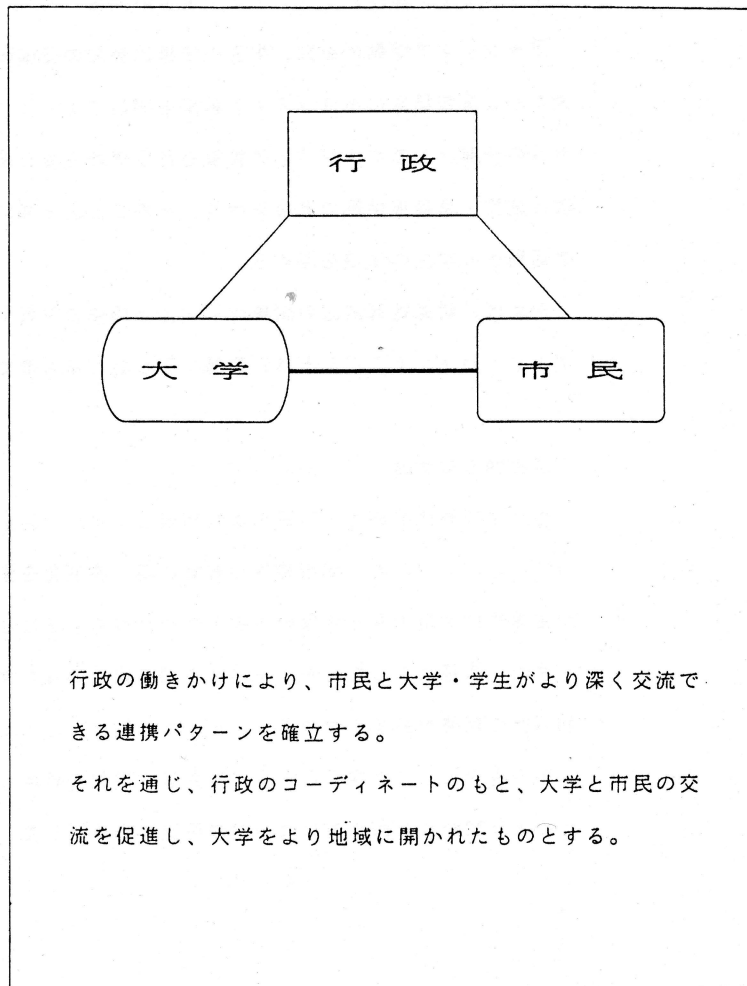
- (1)アドバイザーグループの編成
 - ①人材のデータベース構築
 - ②アドバイザー制度の確立
- (2)地域学の確立・振興
 - ①地域学共同研究の推進
 - ②地域文化研究の情報発信
- (3)市民シンクタンクによるまちづくり
 - ①大学での都市課題研究
 - ②まちづくり関連講座の開催
 - ③まちづくり研究所への展開
- (4)リタイアメントスクールの設立
 - ①リタイアメント講座の開催
 - ②キャリア活用のための退職者の登録、機会の提供

〔Ⅳ〕 学園都市の創出を促進する事業

- (1)大学周辺の施設整備
 - ①大学周辺地区のシンボル化
 - ②学園都市としての都市景観形成
- (2)駅周辺市街地再開発事業等に関連する取組み
 - ①JR西宮駅南地区
 - ②阪急西宮北口駅周辺地区
 - ③情報センター機能の創造
- (3)共同学生会館の建設
 - ①会議・同窓会の需要への対応
 - ②出会いと交流の拠点形成
 - ③阪神文学館の設立
- (4)商店街の活性化
 - ①地元産業の活性化、“感性”へのチャレンジ
 - ②学生とのタイアップイベント企画
- (5)駐車場のタイムシェア利用の研究

2. 事業の概要

〔I〕市民と大学の交流を促進する事業



(1)カレッジタウンフォーラムの開催

「カレッジタウン西宮」事業を、広く市民の参加を得てアピールし、市民・大学・学生への浸透・定着を図る。事業PRパンフレットの作成や「カレッジタウン西宮」の愛称公募も検討する。

①公開討論会の開催

今後のまちづくりにおける大学連携推進について考える場として、大学連携研究委員会委員、市民代表、学生代表、行政等のメンバーで公開討論会を行う。参加者に対する問題提起、提案等を通じて「カレッジタウン西宮」づくりをアピールする。

②文化サークルの発表

市内大学の文化サークルによる演奏会や、大学・学生の研究活動の展示・発表会を開催する。そのことにより、文化活動の市民的な広がりを推進し、市民・大学の枠をこえたサークル等の団体間の交流を図る。

(2) 学生のコミュニティ・ボランティア活動の促進

コミュニティ・ボランティア活動は、社会全体がそれぞれの役割を分担し、支えあって進められるものであり、市外から通う学生も定時制西宮市民として地域における役割を担うことが必要である。特に、本市は市内に10大学3万人の学生という、コミュニティ・ボランティア活動の巨大な地下水脈を持っている。日本で一番献血者の延べ人数の多い大学は関西学院大学、女子大学では武庫川女子大学であるように、大学・学生の熱心な取組がなされている。今後さらに学生のコミュニティ・ボランティア活動への参加を促進し市民・大学ぐるみの活動を推進する。

なお、大学・学生の協力によるコミュニティマップ、コミュニティカルテづくりなどによる地域社会との連携も考えてみる。

① 情報提供活動の充実

学生がコミュニティ・ボランティア活動に参加することを推進するために、広報誌、CATV等を通じて活動内容、人員、時間、場所、意義等、ボランティア活動の具体的内容を提供する。そのことによって、学生の意識の向上や、意欲はあるが参加の機会や場を得られない学生の活動参加を促進する。

② ボランティア講座、ボランティア実習の開設

ボランティア活動の研究、学生の積極的参加の促進のために、大学や公民館講座にボランティア講座を開設する。また、カリキュラムの一部としてボランティア実習を行う等の方策を検討し、行政は施設・講師提供等の支援を行う。そのことによって、ボランティア活動への学生の意識を深める。

例えば、幼児教育講座の開催時に学生が幼児の保育ボランティアとして参加することなどは、容易に取り組めるものであろう。

(3) 施設開放の促進

生涯学習時代を迎え、市民がより利用しやすい施設運営が望まれている。そのため、都市施設の有効利用、高度化を図り、地域が主体的に活用できる施設のネットワークづくりをめざす。

また、市民にとってはキャンパスや図書館といった大学の施設利用への期待が強まりつつある。そうした期待に応えるためにも都市の資源として大学をとらえ、各大学に協力を要請し、大学施設のより開かれたあり方についての可能性を検討していく。

①地域施設のネットワーキング促進

地域のコミュニティ・ボランティア活動の拠点、より便利な都市施設への期待に応えるために、公民館、市民館、共同利用施設、集会所をはじめ、さらに図書館、学校施設など、広く地域活動の拠点となる施設をコミュニティ関連施設として統一的に管理・運営していくシステムの研究を進め、学生と市民の交流、活動の場となるための方策を探る。そのことが、女性と高齢者に偏りがちな活動をより広いものにしていくための基礎となる。

②学生の文化施設利用に対する助成

学生の西宮市の文化施設利用に対して助成措置を検討する。そのことによって、市内における学生の文化活動の発表の場を数多く提供し、市民と交流できる若者の文化的活動が展開され、日常的に「カレッジタウン西宮」の魅力を高める。

③市民の大学施設利用の可能性検討

大学の協力を得て、大学の各施設について、施設利用の可能性、需要度について実態把握に努めると共に、市民利用に向けての方策を検討する。現在、すでに一部において施設の貸出が行われている。また、“まちの博士”（市民レベルでの研究者・専門家）が大学研究室でその知識を深め、地域や大学に貢献できる方策を

検討する。これらをさらに広げるにより、より地域に開かれた大学の実現をめざす。

(4)留学生・地方出身学生交流事業の促進

本市で学び、生活する海外からの留学生や地方出身学生と、地域・市民との交流を促進し、“学園都市”としての“出会い”の場をつくる。そうした活動を通じ、大学・学生レベルの国際交流から地域・市民ぐるみの国際交流への広がりを期待する。

①外国人留学生への奨学金制度の検討

西宮市の大学への留学生の受入れ増加を推進するために、留学生を対象にした奨学金制度を検討する。例えば、「ライオンズクラブ」「ロータリークラブ」等民間団体の援助を得てそうした制度を設立する等が考えられる。そのことにより、西宮がカレッジタウンとして国内の学生だけでなく、留学生にとっても魅力ある街になることをめざす。

②タウン情報・生活情報等の提供

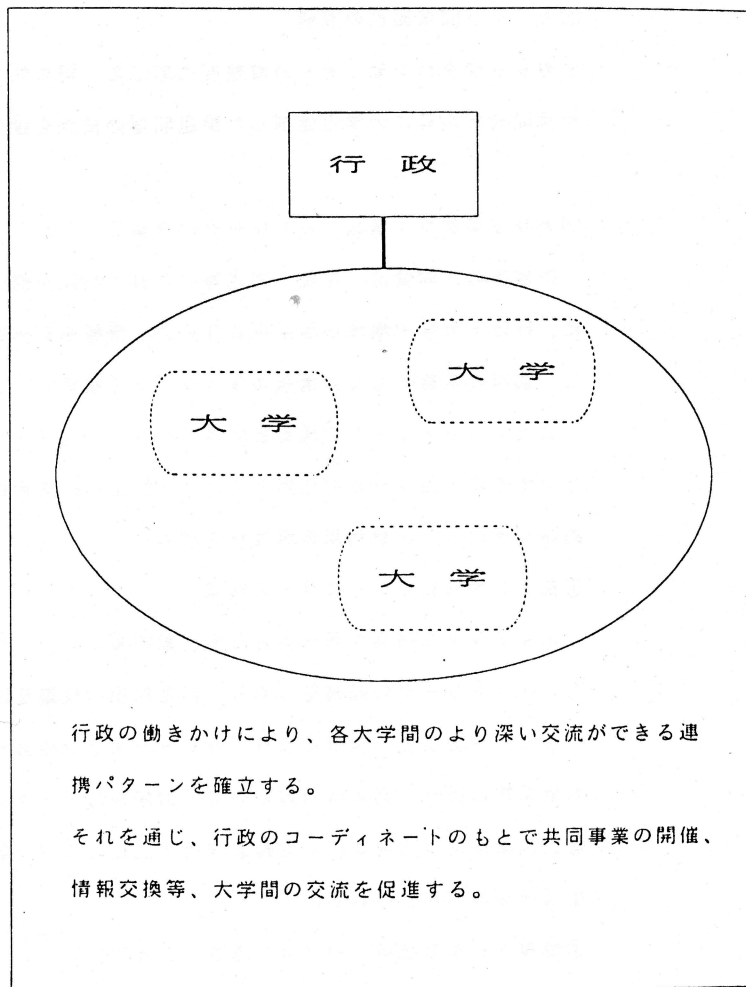
留学生・地方出身学生に西宮市を深く知ってもらうために、さまざまな情報提供を行う。例えば、市内の歴史・文化資産の紹介、施設・イベント案内、入試時の短期下宿制度、下宿情報、アルバ

イト情報、ショッピング・飲食店情報等の情報提供を行い、留学生・地方出身学生の西宮での活動の活性化を図る。

③地域との交流事業の企画

留学生・地方出身学生の住みやすさを高めるために、施設利用の優遇措置、割引入場券の配付、学生割引等を行う。また、良質のアルバイト等の斡旋や留学生が講師となる外国語講座の開設、バザーの開催により、経済的な支援、地域との交流・貢献を深めるようにする。そのことによって、留学生をはじめとして学生にとって親しみのある、住みやすいまちづくりをめざす。

〔Ⅱ〕 大学間の交流を促進する事業



(1)カレッジタウンセミナーシリーズの創設

カレッジタウンセミナーシリーズは、各種の事業を通して、10大学が立地する本市の特性を生かし、学生・市民に様々な特色をもった学習の機会や場を提供していくものである。

事業の推進に際しては、各大学の制度の問題をはじめとして、かなりの調整が必要となるので、実現可能な部分からの段階的な推進が必要である。

現在、程度の差はあれ、市内の大学、短期大学のすべてで公開講座の取組みが行われているが、こうした取組みを基礎にカレッジタウンセミナー制度の設立によって、さらに学生・市民にとって魅力的な学習の場の実現をめざす。

①各大学の講座相互乗り入れ促進

各大学で開設されている講座のうち可能なものを市内大学間で開放し、学生が他大学の講座を受講し、それが単位として認定される制度の促進を図る。そのことにより、各大学の特色・魅力に加えて、「西宮にある大学」としての魅力を生み出す。

②各大学参加の共同講座開設

①の制度とともにカレッジタウンセミナーの母体を形成するために、各大学が共同で「カレッジタウン西宮」の特色を生かした講座を設定し、大学（教員・学生）間の交流を促進する。この制度を生かし、市民の学習参加の受け皿への発展も計画する。

③市民参加、単位・資格認定制度

リカレント教育の拠点として、大学における高度で専門的な講座を市民に対しても開放し、費用の一部を行政が助成することも検討する。同時に市民が単位・資格を取得できる制度を構築する。そのことにより、職業人教育の場としても市民に開かれた大学都市の実現を図る。

④冠講座・新カリキュラムの導入

急速な時代の変化に対応した高度で専門的な学習の必要性に対応するため、行政や企業が冠講座を導入するなどの支援方を検討する。

また、カレッジタウンセミナー独自のカリキュラムづくりを行う。例えば、「都市問題」「健康／死（高齢化社会）の問題」など今後の社会的な問題の他、カレッジタウン西宮ならではの地域学、ボランティア学等についてのカリキュラムが考えられる。

⑤セミナー開催拠点の整備

カレッジタウンセミナーの成熟度に応じて、将来的に庁舎周辺や再開発ビル等に大学と連携した講座開催の拠点を設ける。

(2)カレッジタウン情報ネットワークの構築

西宮市の人的資源・施設・文化等の共有・交流を促進するために、行政・大学・地域が活用可能な資源・情報をデータベース化し、都市の基盤としての情報ネットワークを構築する。

また、ネットワークの構築と同時にパソコン通信・CATV・ビデオ等の情報ツールの活用と合わせ、図書館・美術館等の既存施設を連携し、資源利用の活性化を図る。

①都市資源情報のデータベース構築

ネットワーク構築の第一歩として、都市資源をデータベース化し、ネットワークの基礎をつくり、相互利用の促進を図る。

また、情報加工・提供により「カレッジタウン西宮」PR活動も効果的に行う。例えば内容として、①施設②キーマン・研究者③大学講座④コミュニティ活動⑤図書・文化的資料・学術資料⑥生活情報等が考えられる。

②情報ツールの活用（パソコン通信・CATV）

市民・教員・学生の利便性の向上のために、西宮市が取組みを

進めているパソコン通信、CATVやビデオ等の情報ツールを積極的に講座に活用する。

また、各資料をライブラリーとしてまとめ、開放する。そのことによって、都市の歴史・文化、研究成果・資料の蓄積・流通を図る。放送大学のビデオ学習センター的な施設の設置も検討する。

③情報施設のネットワーキング

データベースをもとに市立図書館・大学図書館、美術館等をネットワークし、文化・学術資料の開放の方向を検討する。

大学、民間、行政が所蔵している学術・文化資料をそれぞれの連携により大学、市民に開放、活用する。

また、大学図書館の蔵書データベースを、大学間、市民が相互利用できるシステムの構築も検討する。

(3)インターカレッジ事業の開催

各大学の文化活動・研究活動・サークル活動の発表会や学園祭等のイベントを市民が参加できる形で合同で開催する。大学・学生間の活動交流、共同活動の推進を通じて、文化・研究活動等の活性化を図り、その成果を広く地域社会に還元する。

また、全国の大学都市と連携した“大学都市サミット”の開催

も検討する。

①フェスティバルの開催

文化・研究活動等の活性化のために、各大学持ち回りで、合同発表会や合同イベントを定期的で開催する。市民も観客としての参加はもちろん、市民研究家、文化・サークル活動団体も発表者として参加を募る。また、「西宮市民祭り」など既存のイベントに学生・サークルの参加（企画・PR・出店・催し物等）を呼びかける。

②交流活動拠点・練習場づくり

フェスティバルを単なるイベントに終わらせることなく、インターカレッジ事業として浸透・定着させるために、交流活動の拠点・メッカ形成を図る。練習場の提供等の支援を行い、市内における文化活動発表の機会、場を提供することによりカレッジタウン西宮の魅力を高めていく。

③学生支援ガレージセールの開催

フェスティバルでは、ガレージセールを行い個人所有の資源を活用できるようにする。例えば、私蔵図書のガレージセール、留学生や下宿学生向けの生活用品等のセールが考えられる。また、「西宮市民祭り」の催し物のひとつとすることも検討する。

(4)カレッジタウンPR活動

「大学との連携による、新しいまち西宮」をアピールするために、カレッジタウンのPR活動を積極的に行う。

また、さまざまな媒体を利用して、大学生生活、文化・研究活動、生活情報等の発信を受験生・市内大学生を中心に広く行う。そのことにより、行政・大学・市民相互の交流を深める。

①学生・受験生向けタウンガイドブックの作成

受験生や学生に西宮の魅力を知ってもらうために、各大学情報・タウン情報（施設、イベント、遊び場）・生活情報（騒音、ごみなど地域生活でのマナー）等を盛り込んだガイドブックを作成する。

受験生や学生に配付し、西宮に対する愛着を喚起する。作成にあたっては大学当局の協力を得るとともに、大学生の参加を募り、学生に対して親しみのあるものにするよう心掛ける。

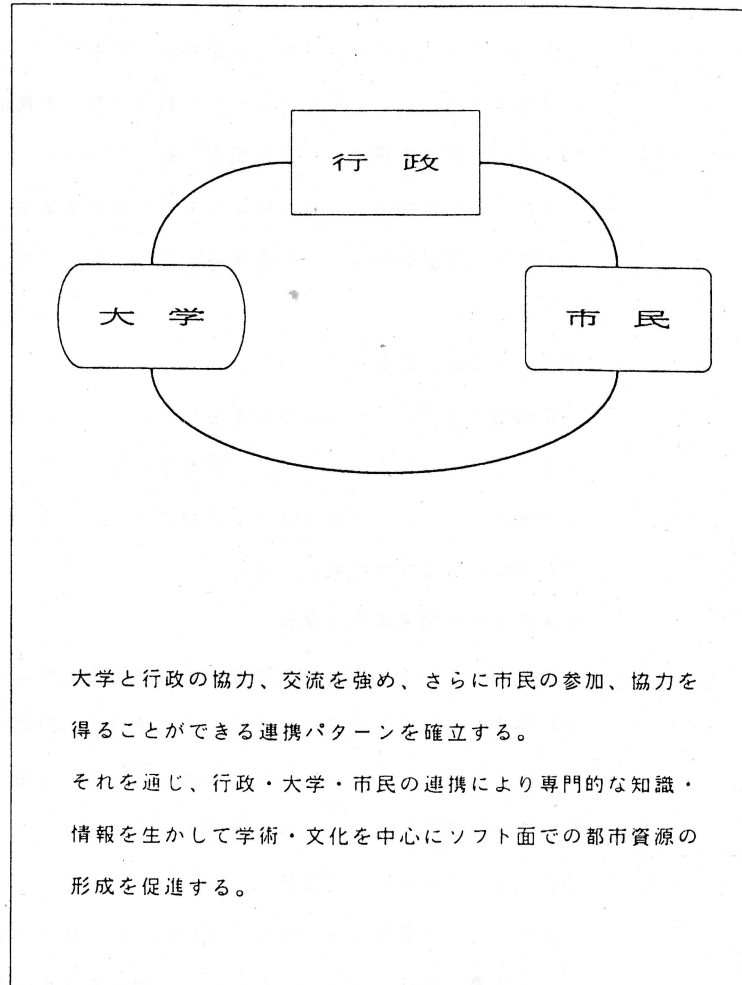
②受験生のための大学ウォッチングツアー実施

「カレッジタウン西宮」を広く知ってもらい、西宮に多くの学生を集めるために、受験生を対象に「西宮市内大学・タウンウォッチングツアー」等の実施を検討し、受験生の西宮に対する理解を深める。

③学生の手による情報誌・CATV番組の制作

「カレッジタウン西宮」情報の発信を強化するために、学生向けタウン情報や生活情報等を盛り込んだ情報誌やCATVの番組を制作し、学生の市内での活動の活性化を図る。これらの制作についても学生の参加を募る。そのことにより、学生の活動を拡張し、幅広い活動・社会経験の機会を積極的に提供する。

〔Ⅲ〕 行政・大学・市民の連携を促進する事業



(1) アドバイザリーグループの編成

西宮市の豊かな人的資源の活用を推進するために、市内の文化人、経済界、大学教員、まちの研究者等を対象に「カレッジタウン西宮」のアドバイザーとして協力を要請する。そのことによって、まちづくりや市民文化振興の原動力となる核づくりを行う。

また、大学との連携には、教員・職員のOB、大学同窓生の協力を得ることも必要である。

① 人材のデータベース構築

アドバイザリーグループの編成、協力体制をつくるために、市内に在住する一技一芸に秀でた市民を含む有識者をデータベースに登録する。例えば、専門や研究テーマをキーワード登録し、講師、リーダーとしての人材バンクを整備する。

② アドバイザー制度の確立

市内の研究者や有識者の積極的な助言・協力を得るために、人材データベースから都市課題に応じたアドバイザリーグループを編成、まちづくりと市民文化の振興についての調査・研究や講座の講師として活動してもらうといった「カレッジタウン西宮」事業推進の支援体制を確立する。

(2) 地域学の確立・振興

地域学とは、地域の文化・歴史・地理・まちづくりの課題といった観点から、そのアイデンティティ、特性を再発見し、地域の活性化に結びつける研究である。学問的研究に並行し、市民が自主的にテーマを設定し、大学側はアドバイザーの役割を担い、共同してわがまちの研究を推進していく。

① 地域学共同研究の推進

地域学研究には、市民の参加によるフィールドワークや、文書や今日のビデオ等による幅広い地域の記録づくりが必要である。こうしたものの集積も活用し、大学・公民館で地域学の講座を開催し、将来的には、カレッジタウンセミナーのカリキュラムに組み込み、「カレッジタウン西宮」の都市の個性を生かした学問・文化を醸成・発信する。

② 地域文化研究の情報発信

西宮市の市民・学生、広くは阪神間への地域学研究の浸透を図るために、研究成果の交流・発表の場を用意する。また、図書の出版等を通じて成果発表の機会をつくる。

また、播磨学・但馬学等他の地域学研究との交流を図り、西宮固有の文化を広く発信する。

(3) 市民シンクタンクによるまちづくり

時代の変化に対応した、新しいまちづくりを行うために、アドバイザーグループを中心として、行政・大学・市民により、まちづくりや地域課題についての調査・研究を行う。

また、広く市民からも論文によるまちづくり提案や、まちのビデオコンペなどを開催し、平素からまちづくりへの関心を喚起する方策を検討する。

① 大学での都市課題研究

多様化する市民ニーズに対応するために、都市課題について行政が必要に応じて大学との共同研究を進める。また、市民が大学院生や研究生として特別に参加する制度や行政課題については行政が講師となる制度を検討する。

② まちづくり関連講座の開催

市民・学生のまちづくりへの参加を促進するために、まちづくりに関連する講座を大学、公民館などで積極的に開催する。将来的には、カレッジタウンセミナーのカリキュラムに組み込み、行政やまちの研究家が講師となる制度を構築する。

③ まちづくり研究所への展開

本市が抱える豊かな人的資源を生かして、行政・大学・産業界・文化界等の連携により、まちづくりと地域文化を総合的に研究していく組織づくりを検討する。

(4)リタイアメントスクールの設立

西宮市は、企業、大学、行政等の退職者、質の高いキャリアを有する高齢者といった潜在的な人的資源を持っている。

このような退職者・高齢者を登録し、キャリアの活用や再教育を図り、人材の再編を行う。退職者・高齢者の能力を生かし、生きがいを感じる活動に従事し、同時に地域社会やまちづくりに貢献できるよう、リタイアメントスクールの制度を検討する。

①リタイアメント講座の開催

退職後の社会参加・貢献を促進し、生涯学習の充実を図るため、退職後の生活に生きがいをあたえ知的関心を満足させるカリキュラムや活動の場を提供する。

さらに、退職者にたいして知識・技能の再教育・活用・再編を行い、各分野での活躍を促進する。そのことによって、退職者・高齢者がすでに持っている知識・経験、技能を磨くとともに、さらに、新しいキャリアを形成する。

また、海外のリタイアメントスクールと提携し、国際交流をはかる等の広がりを持たせることも考えられる。

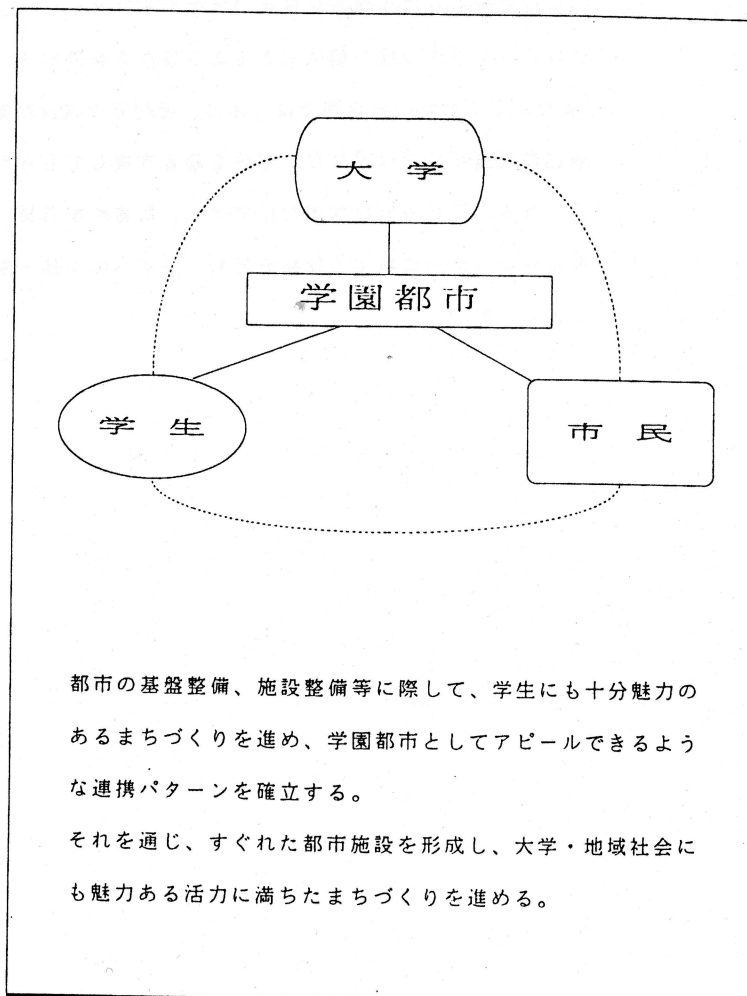
②キャリア活用のための退職者の登録、機会の提供

すぐれたキャリア・技能をもつ退職者・高齢者の経験を活かすために、退職者をデータベースに登録し、研究者や企業等で専門

的な能力をもった経験者が講座の講師やオブザーバー、その他市内各施設で活躍の場を提供できるよう条件を整備する。

また、市や大学の施設等では、休日、夜間等の施設稼働に際し、現在の人員だけでは足りない部分を適宜支援してもらうことも考えられる。単なる施設管理だけでなく、司書や学芸員、OA機器のオペレーターに類する仕事を通じ、運営への参加・協力を得ることもできる。

〔IV〕 学園都市の創出を促進する事業



(1) 大学周辺の施設整備

大学周辺のアメニティとイメージを高めるために、交通網の整備・街並づくりを含めた、大学周辺の施設整備を図り、大学周辺地区を「カレッジタウン西宮」のシンボルゾーンとして、学生をはじめ市民にも親しみのあるものにする。

① 大学周辺地区のシンボル化

大学周辺地区を西宮市のシンボリック地区と位置づけ、道路の整備、緑化の推進を図るなど、快適でうらおいのある環境の整備を進める。

② 学園都市としての都市景観形成

本市は、「都市景観条例」を施行し、ゆとりとうらおいのある美しい文教住宅都市づくりを進めている。現在、一部の大学施設が「都市景観形成建築物等」に指定されているが、今後さらにこの制度の推進を図る。

(2) 駅周辺市街地再開発事業等に関連する取組み

学生や若者を集め、地域経済やまちの活性化を図るために、再開発事業等に際して、文化・商業・娯楽施設、カレッジタウンセミナー開催拠点、情報センター等の施設を盛り込み、学生街とし

ての賑わいをつくり出す。現在、JR西宮駅南地区、阪急西宮北口駅周辺地区、阪神西宮駅周辺の再開発が実施・計画されているが、これらの再開発事業の中で「カレッジタウン西宮」の有形の資産形成の核づくりに努める。

施設づくりが期待されるものには、各大学の共同講座、交流活動拠点・練習場、リタイアメントスクール、多目的スペース、ビデオ学習センター、各大学のショールームスペース、学生の溜り場や喫茶・飲食店街、本格的な書店・文房具店、共同学生会館などがある。

① JR西宮駅南地区

JR西宮駅南地区は現在、公共施設の整備と良好な都心型住宅の建設および業務・商業機能の集積を図ることにより、「都心機能の新たな構築」をめざして再開発事業を実施している。近い将来、JR西宮駅南地区は、「カレッジタウン西宮」の玄関口として生まれ変わる。

② 阪急西宮北口駅周辺地区

昭和63年度に駅周辺地区約67.4ヘクタールについて「西宮北口駅周辺地区都市総合再開発促進計画策定調査」を行い、この地区を、西宮はもとより、阪神間の広域核と呼ばれるにふさわしい活

気あふれるまちとするための構想をまとめた。

今後、西宮北口地区は、県の芸術文化センターの建設を中心に「カレッジタウン西宮」の顔としての整備が予定されている。

③ 情報センター機能の創造

「カレッジタウン西宮」の情報発信の強化のために、駅周辺市街地再開発計画の中に、情報センター等を設け、さまざまな情報を発信する。例えば、大掛かりな施設をつくらなくともコンピュータの端末や電光掲示板等を設置し、カレッジタウンのデータベースの情報やイベント等の情報を流すことができる。そのことによって、学生・市民に対し、「カレッジタウン西宮」をアピールする。

(3) 共同学生会館の建設

西宮市には、学生向きの会議や集会・同窓会の開催場所が少ないため、大阪・神戸方面へ利用者が流れている。そういった場を西宮市につくるためにも、大学・市民・行政の共同事業として各大学が利用できる学生会館を建設する。大学在学中には西宮を中心に活動していたが、就職して西宮を離れた人たちが集まる場所としても利用でき、学園都市西宮の拠点となる。

①会議・同窓会の需要への対応

西宮の大学を卒業した人たちが集まる場所をつくるために、共同学生会館を設ける。そこでは、会議だけでなく、同窓会やパーティを開くことができるような機能も加え、「カレッジタウン」としての出会いや交流の場をつくる。

②出会いと交流の拠点形成

さらに、共同学生会館は、市民と大学の出会いと交流を深めるために、共同講座開催スペース、地域学・阪神学フロア、研究・文化活動の発表を行う場や、さまざまな交流の拠点として位置づける。例えば、社会的な作法や人との関わりを深める方法について実践的に学ぶ、社交大学講座等を開設するなど、世代・年齢・性別を超えた交流の機会と場をつくる。

③阪神文学館の設立

共同学生会館には、会議・講座・パーティが開けるスペースに加えて、例えば、阪神学の一環として、私蔵（死蔵）図書を中心に阪神間が輩出した、あるいは阪神間を舞台とした文学作品を集めた「阪神文学館」といった文化的・公共的なスペースも検討する。

(4)商店街の活性化

大学が立地し、学生や若者の集積を地域経済やまちの活性化に結び付けるために、学生の商店街の利用を促す方策について検討する。例えば、地元産業との連携や駐車場整備、さらに、学生割引の実施、学生・商店街のタイアップイベントの開催や商店街活性化への学生参加も検討する。

①地元産業の活性化、“感性”へのチャレンジ

学生や若者にとっても魅力あるまちづくりを進めるために、今後、文化、ファッション、レジャー、グルメ、スポーツの「感性」に訴える産業を積極的に誘致・育成していく。そうした先端性の高い産業が人を集め、地元商店街も一体となった活性化を図ることができる。例えば、西宮を代表する伝統産業の一つである酒造業界に働きかけ、「公営パブ」や酒蔵コンサートといった形で、地元産業・商業と大学、学生、市民生活を身近なものにし、地域文化の一端を担うような方策も考えられる。

②学生とのタイアップイベント企画

学生の購買力、消費動向を探るため、女子大生を消費者モニターとして積極的に採用する。また、商店街の活性化を図るため、学生割引の日や学生割引協力店を設定することや、学園祭を地元商

商店街と合同で実施すること等を検討する。

さらに、商業振興についての学生の論文（実態調査部門、提言部門）募集も企画する。

(5) 駐車場のタイムシェア利用の研究

車社会の進展にともない、人の集まる場所には駐車場が欠かせないようになっている。そうした中で、行政・大学・地元商店街・市民が共同で駐車場を整備、運営し、日中は大学職員、学生等が利用し、夜間は住民としての市民が利用するなどのタイムシェア利用の方策や、東京都北区の王子5丁目団地の自治会が会社を設立して駐車場の整備、管理運営を行っているような方策を検討する。

第三章 学園都市としての西宮市の課題

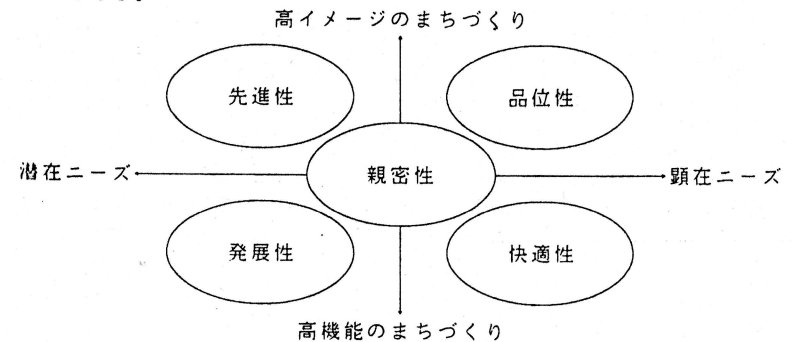
1. ニーズと課題の関連

「カレッジタウン西宮事業」は、「先進性の向上」「発展性の向上」「親密性の向上」「快適性の向上」「品位性の向上」の5つの目標を達成し、学園都市としての西宮の魅力づくりを図るものである。

- ①先進性 《大学があるから、時代の要求を先取りすることができる》
- ②発展性 《大学があるから、まちの多様な可能性を発見することができる》
- ③親密性 《大学があるから、広くて豊かな交流を深めることができる》
- ④快適性 《大学があるから、市民生活を快適なものにすることができる》
- ⑤品位性 《大学があるから、市民文化の質を高めることができる》

本章では、西宮は大学・行政・市民が持っているどのような資源を活用することができるのか、また、この資源と都市魅力がどのように関連しているかを検討する。さらに、この検討を通じ、各事業の具体化にあたってのスケジュールを設定する。

当事業によって、西宮の都市魅力を創出することは、市民のさまざまなニーズに応え、市民文化の質を高めることである。魅力ある都市とは、すでに明らかになっているニーズだけでなく、今後発生すると考えられるニーズに対しても応える都市である。同時に、あこがれや愛着といった期待感で人々を集める高いイメージと、自在な都市活動を可能にする実質的に高い機能を持つ都市である。



カレッジタウン西宮事業は、このまちづくりの5つの目標を達成することによって、「出会い 創造 にしのみや」の理念を具体化し、魅力ある都市づくりをめざすものである。

2. 資源と活用方策

【サービス】

	行政	大学	地域
資源	<ul style="list-style-type: none"> ・施策 ・サービス制度 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講座 ・広汎なビジョン ・学術的な専門知識 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動 ・ボランティア活動 <p>など</p>

事業	行政	大学	地域
〔Ⅰ〕市民と大学の交流を促進する事業	■留学生を対象にした奨学金制度の検討	■ボランティア講座の開催	■学生の生活支援
〔Ⅱ〕大学間の交流を促進する事業	▲都市の潜在資源の活用 (死蔵圖書の活用等)	<ul style="list-style-type: none"> ●都市問題についての研究・講座開催 ●新学部・新カリキュラムの編成 ●大学共同講座の開催、単位取得制度の検討 ●単位・資格取得可能な公開講座制度の検討 ■冠事業・講座の開催	
〔Ⅲ〕行政・大学・市民の連携を促進する事業	<ul style="list-style-type: none"> ★観光・歴史・文化資源の整備 ●時代を先取りした施策・制度の立案 	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の歴史・文化をテーマに講座開催 ★地域学の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ★観光・歴史・文化資源の保護 ▲退職者の活用・再教育
〔Ⅳ〕学園都市の創出を促進する事業	<ul style="list-style-type: none"> ◆制度・施策の見直し ◆都市基盤の整備 	◆駐車場問題への対応・解決	◆夜間・休日利用サービスの充実

●先進性の向上 ■親密性の向上 ★品位性の向上
 ▲発展性の向上 ◆快適性の向上

【 情 報 】

	行 政	大 学	地 域
資 源	<ul style="list-style-type: none"> ・市民祭り ・イベント ・P R 誌紙 ・パソコン通信 ・C A T V <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学祭 ・蔵書 ・大学新聞 ・広報誌 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化、体育、サークル祭 ・データベース ・大学案内（新入生向） <p style="text-align: right;">宮っ子 など</p>

事 業	行 政	大 学	地 域
〔Ⅰ〕市民と大学の交流を促進する事業			◆下宿等生活関連情報の発信
〔Ⅱ〕大学間の交流を促進する事業	<ul style="list-style-type: none"> ●C A T V・視聴覚資料の活用、ソフトの制作 ●大学連携都市の推進 ▲データベースの構築、ネットワーク基盤の整備 ■西宮市のP R ■西宮市主催イベント等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●大学連携都市の推進 ▲蓄積された知識の発信 ▲データベースの拡充 ■入学案内等P R活動の強化 ■研究・文化活動成果発表、イベント等の合同開催 	<ul style="list-style-type: none"> ▲パソコン／データベースの利用・活用 ■街のP R情報発信
〔Ⅲ〕行政・大学・市民の連携を促進する事業	★文化都市としてのイメージ戦略	●街づくりに対する提案	<ul style="list-style-type: none"> ★歴史・文化資料の公開 ●街づくりに対する提案
〔Ⅳ〕学園都市の創出を促進する事業			◆商店街の活性化

- 先進性の向上
- 親密性の向上
- ★品位性の向上
- ▲発展性の向上
- ◆快適性の向上

【 人 】

	行政	大学	地域
資源	<ul style="list-style-type: none"> ・職員 ・退職者 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員 ・学生 ・留学生 ・職員 ・退職者 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダー ・教員 ・婦人 ・活動可能なシルバー層 ・ビジネスマン <p style="text-align: right;">など</p>

事業	行政	大学	地域
〔Ⅰ〕市民と大学の交流を促進する事業	<ul style="list-style-type: none"> ■交流機会の創出・活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域社会への貢献、ボランティア活動 ■交流機会の創出・活性化 ▲学生のコミュニティ・ボランティア活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ■交流機会の創出・活性化
〔Ⅱ〕大学間の交流を促進する事業			
〔Ⅲ〕行政・大学・市民の連携を促進する事業	<ul style="list-style-type: none"> ★地域学振興への積極的な援助 ●アドバイザーグループの編成・ネットワーク化 ●シンクタンク等の研究機関の設立 ▲職員の専門知識の活用 ▲退職者の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ★地域関連知識・文化の教育と研究 ●時代に求められる人材の育成 ▲退職者・同窓生の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の研究者・専門家との交流、共同研究体制の確立 ●知識・文化レベルの交流 ▲地域の研究者・退職者の知識・技能の活用 ▲婦人の労働力の活用
〔Ⅳ〕学園都市の創出を促進する事業			

- 先進性の向上
- 親密性の向上
- ★ 品位性の向上
- ▲ 発展性の向上
- ◆ 快適性の向上

【 施設 】

	行政	大学	地域
資源	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎 ・公民館, 市民館 ・市民会館, ホール ・スポーツ施設 ・文化施設 ・図書館 ・公立学校 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講堂, ホール ・グラウンド ・図書館 ・学舎 ・コンピュータ <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街 ・美術館, 博物館 ※いずれも民間 ・酒蔵 ・飲食・物販・遊戯施設 ・各種企業のオフィス ・観光、歴史・文化的な資源 <p style="text-align: right;">など</p>

事業	行政	大学	地域
〔Ⅰ〕 市民と大学の交流を促進する事業	▲施設利用の活性化促進	▲施設利用の活性化促進	■学生に対する施設利用の優遇
〔Ⅱ〕 大学間の交流を促進する事業			
〔Ⅲ〕 行政・大学・市民の連携を促進する事業		★地域学の拠点施設設置	
〔Ⅳ〕 学園都市の創出を促進する事業	<ul style="list-style-type: none"> ●情報センター等の設立 ■再開発ビル等スペース提供 ◆ターミナル等都市施設の活性化・再開発 	■学生会館の建設	<ul style="list-style-type: none"> ◆書店・文具店の充実 ◆飲食・娯楽施設の誘致

●先進性の向上 ■親密性の向上 ★品位性の向上
 ▲発展性の向上 ◆快適性の向上

3. 構想実現へのステップ

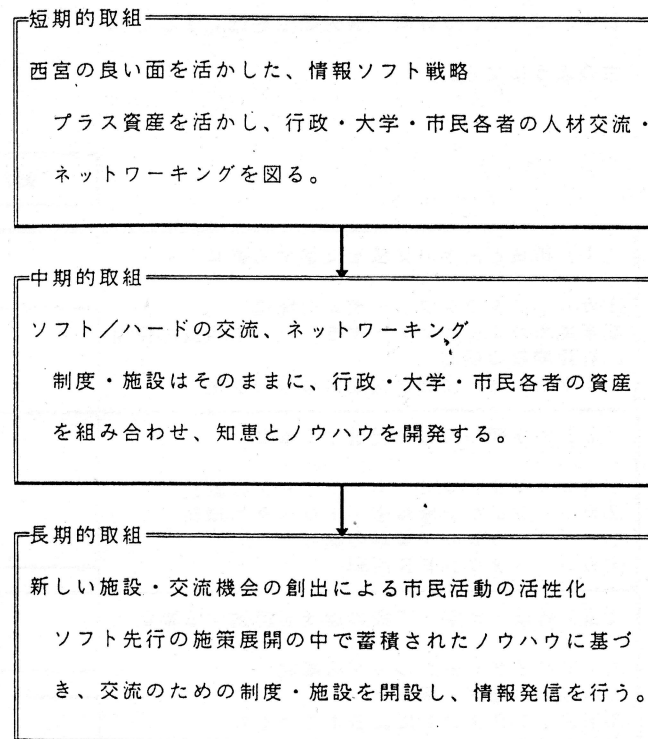
「カレッジタウン西宮」構想の実現のためには、行政・大学・市民各者の緊密な連携が必要である。そのためには段階的に整備可能な分野から着手し、長期的な展望をもって推進を図る。施設づくりが先行する事業推進ではなく、各者の連携を重視した仕掛け・仕組みづくりが先行する事業推進を行う。

西宮市内の私立10大学の連携・交流を通じて、行政・大学・市民3者の持つ資源の相互利用を可能にする。そのために、大学と行政の間で、人材の交流やデータベースの構築を通じて、仕掛け・仕組みづくりといった「ソフト開発」を行う。

さらに、人やサービスの相互交流や、相互の施設開放を検討、講師派遣などの人材交流を実現する。それに引き続き、将来的な新しい施設（「ハード開発」）を前提にして新しい交流や活動の機会と内容を検討する。

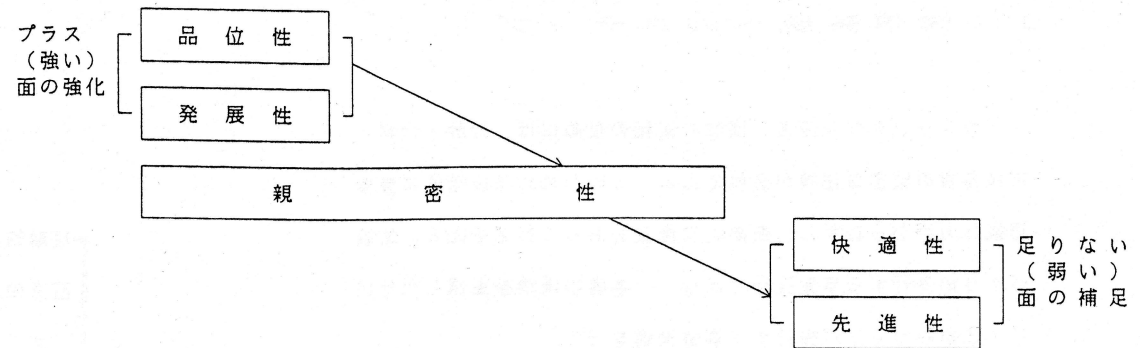
最終的には、行政・大学・市民団体・企業の新しい連合体を設立し、「カレッジタウン西宮」のまちづくりの計画や施設管理運営などを行う。

これによって、「カレッジタウン西宮」として西宮市域⇨阪神地域⇨全国規模の情報発信・活動の広がりを持たせ、西宮市／阪神間の発展を図る。



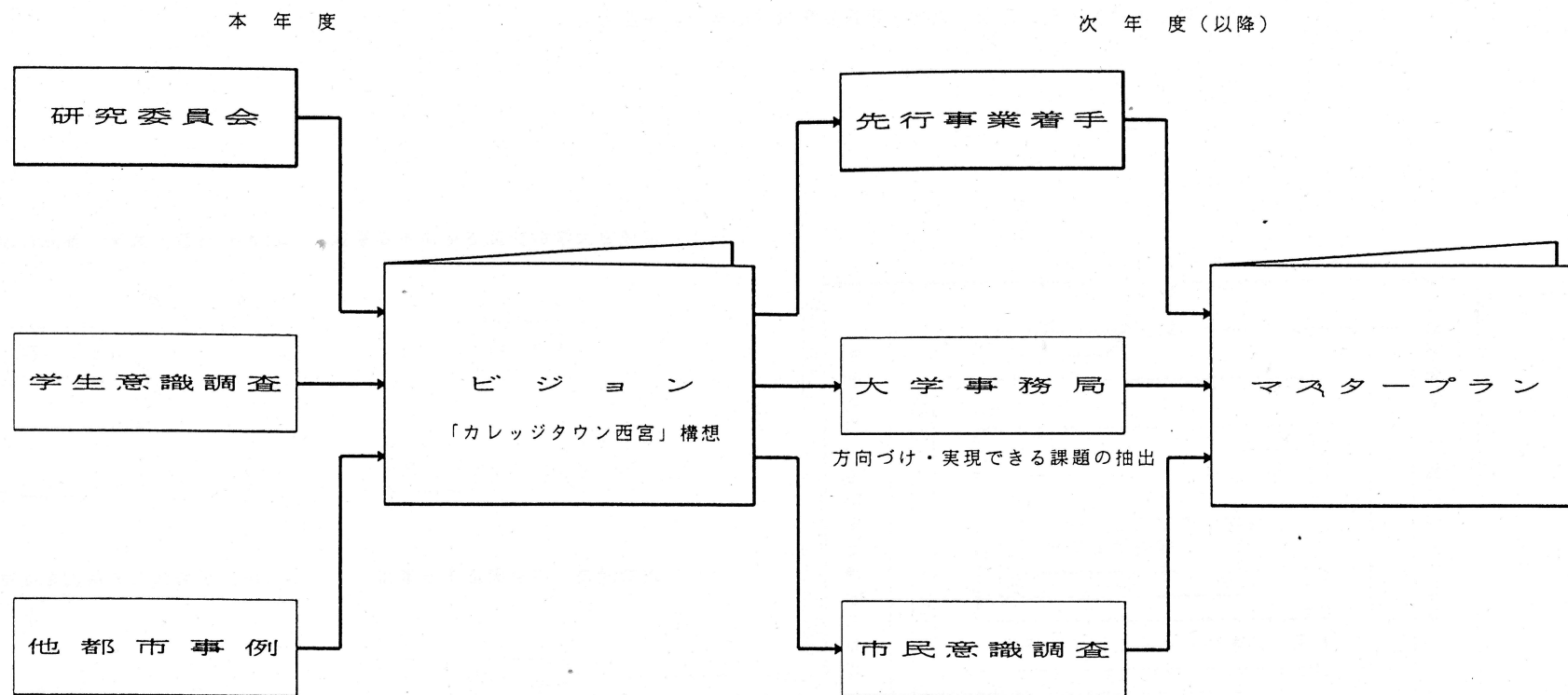
スケジュール

課題の推進方法は、まず、強い面をより強化
 ・発展させて、活動目標に対する評価や期待感を向上し、その後に弱点を補強するというのが効果的である。5課題の優先順位を想定すると、右ようになる。



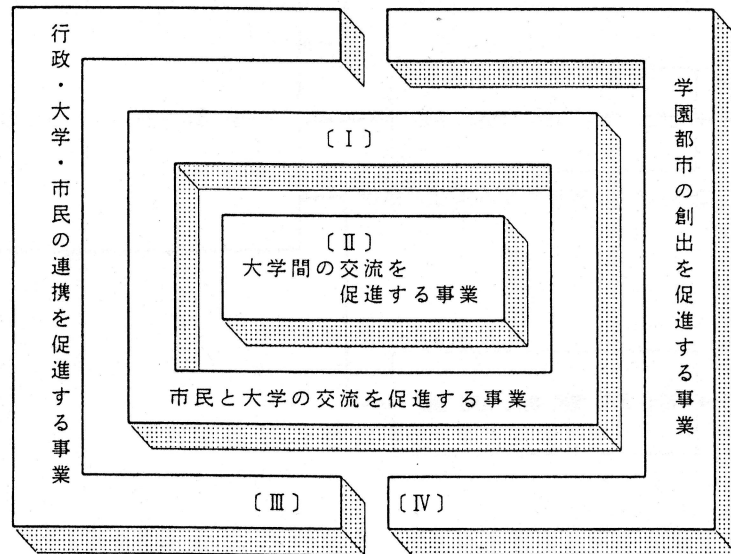
	短期的取組	中期的取組	長期的取組
〔Ⅰ〕市民と大学の交流を促進する事業 (1)カレッジタウンフォーラムの開催 (2)学生のコミュニティ・ボランティア活動の促進 (3)施設開放の促進 (4)留学生・地方出身学生交流事業の促進	→	→	→
〔Ⅱ〕大学間の交流を促進する事業 (1)カレッジタウンセミナーシリーズの創設 (2)カレッジタウン情報ネットワークの構築 (3)インターカレッジ事業の開催 (4)カレッジタウンPR活動	→	→	→
〔Ⅲ〕行政・大学・市民の連携を促進する事業 (1)アドバイザーグループの編成 (2)地域学の確立・振興 (3)市民シンクタンクによるまちづくり (4)リタイアメントスクールの設立	→	→	→
〔Ⅳ〕学園都市の創出を促進する事業 (1)大学周辺の施設整備 (2)駅周辺市街地再開発事業等に関連する取組み (3)共同学生会館の建設 (4)商店街の活性化 (5)駐車場のタイムシェア利用の研究	→	→	→

事業推進の流れ

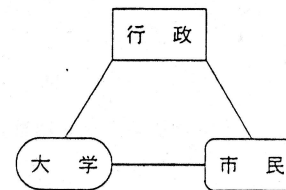


4. 「出会い 創造 にしのみや」

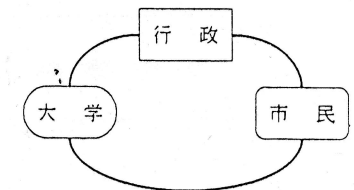
“ 出会い ” 「カレッジタウン西宮」事業は、『出会い 創造 にしのみや』の行動理念に基づき、
行政の働きかけにより、行政・大学・市民各者の『出会い』を図る。



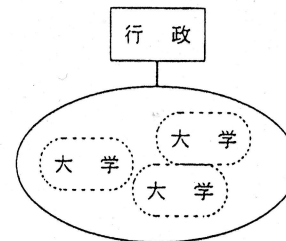
〔Ⅰ〕 市民と大学の交流を促進する事業



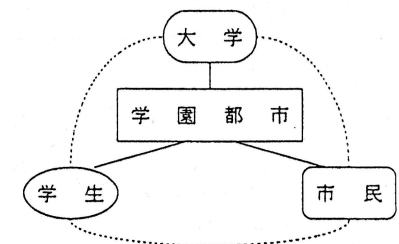
〔Ⅲ〕 行政・大学・市民の連携を促進する事業



〔Ⅱ〕 大学間の交流を促進する事業

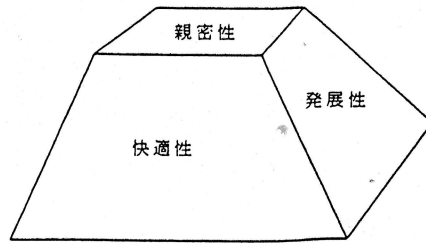


〔Ⅳ〕 学園都市の創出を促進する事業

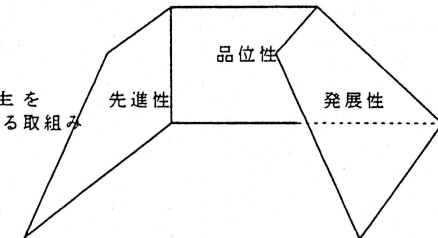


“創造” 4つの事業を推進することによって、「先進性」「発展性」「親密性」「快適性」「品位性」という5つの都市魅力を向上していく。
最終的には、4つの事業推進を基盤に、大学を都市の資源として生かしたまち「カレッジタウン西宮」を創造する。

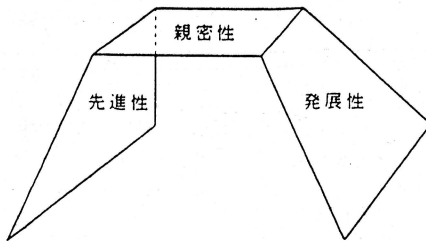
(I) 市民と大学の交流を促進する事業



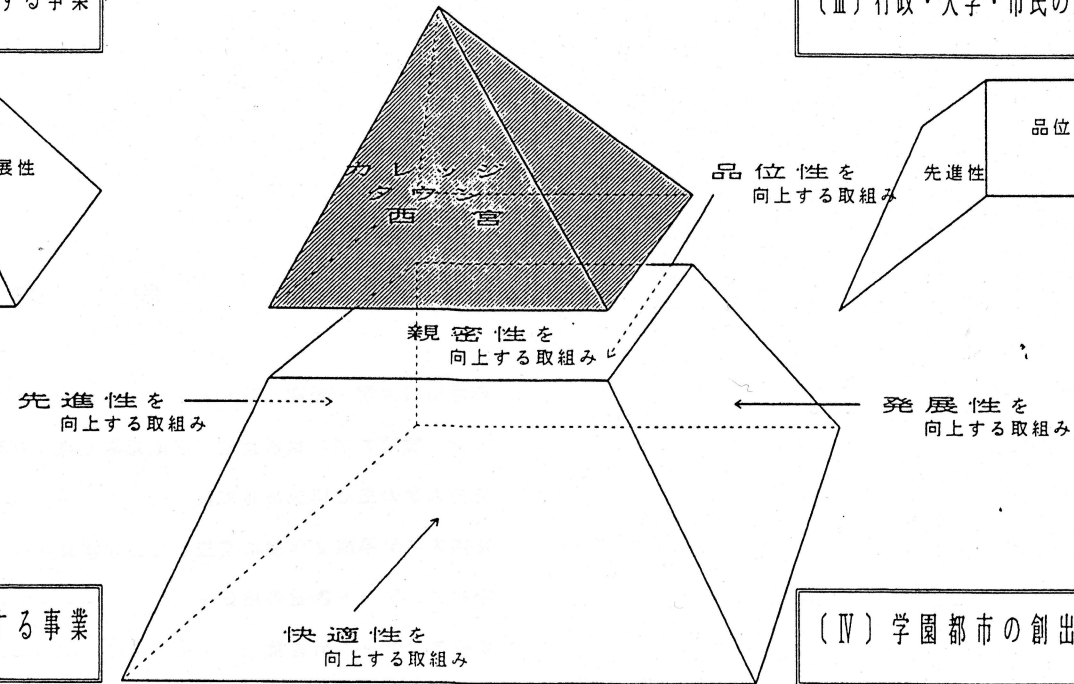
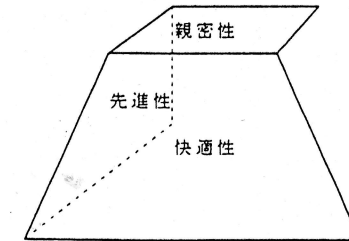
(III) 行政・大学・市民の連携を促進する事業



(II) 大学間の交流を促進する事業



(IV) 学園都市の創出を促進する事業



資料編

目次

西宮市内大学・短期大学一覧	38
大学・短期大学の都市比較（平成元年5月1日現在）	39
市内大学の主な特色ある施設	40
市内大学が平成2年度に実施した公開講座	41
学生アンケート調査の結果	42
学生アンケート調査票	50
平成4年西宮市民意識調査票	52
西宮市生涯学習市民意識調査より	53
大学連携事例	56

【西宮市内大学・短期大学一覧】

大学名	学部・学科	学生数	男	女	教員数	校地面積(㎡)
関西学院大学	神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 理学部	13,880	9,624	4,256	286	244,810
神戸女学院大学	文学部 音楽学部 家政学部	2,211	—	2,211	91	113,328
武庫川女子大学	文学部 家政学部 音楽学部 薬学部	4,680	—	4,680	242	239,558
聖和大学	教育学部	482	65	417	25	38,724
大手前女子大学	文学部	2,067	—	2,067	61	46,444
兵庫医科大学	—	656	447	209	378	100,727
小計		23,976	10,136	13,840	1,083	783,591
武庫川女子大学短期大学部	国文学科 英語学科 児童教育学科 人間関係学科 体育学科 食生活学科 生活造形学科	4,725	—	4,725	116	(239,558)
聖和大学短期大学部	保育科 英語科	794	—	794	30	(38,724)
甲子園短期大学	家政科 幼児教育科 日本文化科	859	—	859	40	17,484
夙川学院短期大学	家政学科 児童教育学科 英語英文学科 美術科	2,113	—	2,113	72	52,442
小計		8,491	—	8,491	258	69,926
合計		32,467	10,136	22,331	1,341	853,517

(学生数・教員数は平成3年5月1日現在)

【大学・短期大学の都市比較（平成元年5月1日現在）】

※人口40万人以上、学校総数10以上の都市
 ※千葉市については平成3年度データ参考

都市名	人口	大 学			短 期 大 学			合 計		
		学校数	学生数	人口千人当 たり学生数	学校数	学生数	人口千人当 たり学生数	学校数	学生数	人口千人当 たり学生数
西 宮 市	411,455	6	23,933	58.2	4	7,892	19.2	10	31,825	77.3
八 王 子 市	438,645	15	77,527	176.7	5	3,872	8.8	20	81,399	185.6
京 都 市	1,414,778	22	118,718	83.9	15	13,941	9.9	37	132,659	93.8
千 葉 市	821,003	19	45,990	56.0	16	13,927	17.0	35	59,917	73.0
福 岡 市	1,169,145	11	65,459	56.0	9	9,325	8.0	20	74,784	64.0
東 京 都 区 部	8,098,663	70	418,027	51.6	57	61,115	7.5	127	479,142	59.2
仙 台 市	878,623	8	38,911	44.3	8	4,114	4.7	16	43,025	49.0
岡 山 市	587,348	5	21,085	35.9	6	4,765	8.1	11	25,850	44.0
熊 本 市	606,514	6	22,091	36.4	4	3,521	5.8	10	25,612	42.2
神 戸 市	1,426,156	15	48,817	34.2	11	10,121	7.1	26	58,938	41.3
広 島 市	1,049,168	10	33,895	32.3	10	7,485	7.1	20	41,380	39.4
金 沢 市	427,830	5	12,349	28.7	4	3,623	8.5	10	15,972	37.3
名 古 屋 市	2,101,291	16	63,038	30.0	19	14,650	7.0	35	77,688	37.0
長 崎 市	444,061	3	9,283	20.9	8	5,003	11.3	11	14,286	32.2
札 幌 市	1,608,585	9	35,790	22.2	12	10,678	6.6	21	46,468	28.9
北 九 州 市	1,029,724	7	16,326	15.9	8	6,464	6.3	15	22,790	22.1
大 阪 市	2,535,468	8	31,501	12.4	11	11,980	4.7	19	43,481	17.1
横 浜 市	3,152,742	9	41,498	13.2	13	7,673	2.4	22	49,171	15.6

※学校数・学生数は「大都市統計比較表」平成元年、人口は「東洋経済」（住民基本台帳人口、平成元年3月末）より作成
 ※学校数・学生数は各自治体統計係
 ※短期大学には、高等専門学校を含む

【市内大学の主な特色ある施設】

大 学 名	所 在 地	講堂・ホール	そ の 他	図 書 館	学 部 ・ 学 科 名
関 西 学 院 大 学	上ヶ原1番町1-155	中央講堂	千刈セミナーハウス 同窓記念会館	○ 80万冊	神学部、文学部、社会学部 法学部、経済学部、商学部 理学部
神 戸 女 学 院 大 学	岡田山4-1	講 堂	シェイクスピア園 同窓会館	○ 26万冊	文学部、音楽学部、 家政学部
武 庫 川 女 子 大 学	池開町6-46	公江記念講堂 (2,500人)	第3学舎 同窓会館	○ 44万冊	文学部、家政学部、 音楽学部、薬学部
武庫川女子大学短期大学部					国文学科、英語学科、児童 教育学科、人間関係学科、 体育学科、食生活学科、 生活造形学科
聖 和 大 学	岡田山7-54	講 堂	同窓会ナルド館	○ 10万冊	教育学部
聖和大学短期大学部					保育科、英語科
甲 子 園 短 期 大 学	瓦林町4-25	—	—	○	家政科、幼児教育科、 日本文化科
夙 川 学 院 短 期 大 学	飯岩町6-58	増谷記念館	—	○	家政学科、児童教育学科、 英語英文学科、美術科
大 手 前 女 子 大 学	御茶家所町6-42	聚学院教室(250人)	アートセンター (予定) 同窓会室	○ 7万冊	文学部
兵 庫 医 科 大 学	武庫川町1-1	—	—	○ 13万冊	—

(各大学学校案内より、主なものを抽出)

【市内大学が平成2年度に実施した公開講座】

	テ - マ	開催日	開催回数	延べ参加人数
関西学院大	前 愛の思想史	5/12- 6/ 2	4 回	1,775人
	日本の生活文化	6/10- 6/30	4 回	1,322人
	ジャーナリズム講座	5/21- 6/15	2 回	350人
	健康科学講座	6/16	1 回	51人
	特別講座「私の教育観」	7/7	1 回	300人
	後 世界の環境	10/ 6-10/27	4 回	1,306人
ストレスの心理学	11/10-12/ 1	4 回	1,872人	
学外講座「リーダーシップ」	10/15	1 回	220人	
期 「神戸の経済と文化」	9/21- 9/24		17人	
神戸女学院大	前 春季公開講座			
	キリスト教と文化	5/19- 6/23	4 回	340人
	金曜日公開プログラム	4/27- 9/14	9 回	—
	後 秋季公開講座			
生態系と人間生活	10/13-11/17	5 回	215人	
金曜日公開プログラム	10/19-12/14	4 回	—	
期 中国語講座	9/22-12/ 8	10回	120人	
聖和大	幼児教育大学 「子どもの世界 Part V」	10/ 6-11/17	5 回	300人
兵庫医科大学	体と薬のかかわり			
	体と薬の調和	9/ 8		
	慢性疾患における薬と食事	9/15		
	薬と上手につきあうには	9/22		
甲子園学院大	前 教養大学講座			
	体験的教育論ほか	5/26- 9/29	5 回	約 1,000人
後 教養大学講座				
期 日本の家庭と世界の家庭ほか	10/27- 3/ 9	5 回	約 1,000人	

	テ - マ	開催日	開催回数	延べ参加人数
武庫川女子大	前 国文学講座			
	万葉の自然	5/23- 7/25	10回	320人
	西鶴と人ごころ	5/22- 7/24	10回	160人
	芭蕉の世界	5/25- 7/27	10回	200人
	人間学講座			
	出会いの人間学	5/22- 7/24	10回	320人
	ロマンティックエッセイ	5/25- 7/27	10回	200人
	音楽講座			
	たのしい合唱	5/30- 6/20	4 回	200人
	幼児教育講座	7/25- 7/28	4 回	400人
川	母と子の野外教室	7/28- 7/30	2泊3日	30組
	情報処理講座			
	10コース	5/21- 7/27	延べ50日	1,100人
	後 国文学講座			
	日本の神話・神代	9/13-11/15	10回	120人
	日本の神話・古代の天皇	1/17- 3/14	9 回	90人
	万葉の人々	9/12-11/28	10回	320人
	万葉の旅	1/16- 3/20	10回	320人
	西鶴文学の光と影	9/11-11/20	10回	120人
	西鶴文学の経済空間	1/29- 3/19	8 回	88人
大	芭蕉	9/14- 3/15	18回	288人
	平家物語を読む	9/10-11/19	10回	140人
	人間学講座			
	出会いの人間学	9/11- 3/19	18回	512人
	対人関係の心理学	9/13- 3/ 7	18回	188人
	随筆入門	9/14-11/30	10回	80人
	合唱への誘い	9/13- 3/ 7	18回	216人
	たのしい合唱	9/12- 3/ 6	18回	444人
	ワープロ講座8コース	9/10- 2/13	40回	420人
	コンピューター講座4コース	9/ 7- 3/ 5	22回	252人

市政ニュース平成3年3月25日号より作成

【学生アンケート調査の結果】

平成3年10月に『大学生活と西宮に対する意識についてのおたずね』という調査を関西学院大学、夙川学院短期大学、武庫川女子大学を対象に行った(サンプル数 379人)。以下はその結果の抜粋である。

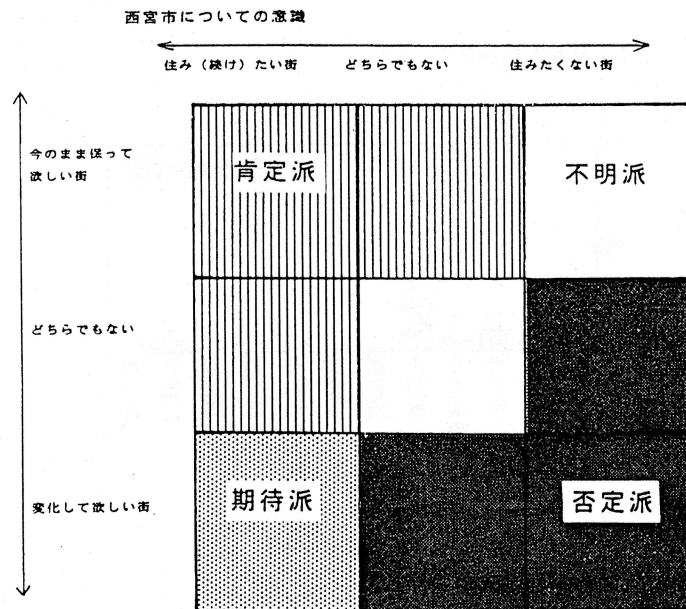
(1)各タイプのプロフィール

- ・西宮市についての意識、「住み続けたいかどうか」「今のままあるいは変化のどちらを望むか」の2軸を基に、回答者をタイプ分類した結果、以下の分布となった。
- ・回答者総数の379名のうち、肯定派が38%、否定派が34%、期待派14%、不明派13%と、ほぼ2:2:1:1の割合となる。

- ・各タイプを比較して、他と比べ、特に占有率が高い属性をあげると次のようになる。
- ・大学別では、関学、夙川に肯定派が多く、武庫川に否定派が多く見られた。

	肯定派	期待派	不明派	否定派	無回答	
全体	379(100.0)	142(37.5)	52(13.7)	50(13.2)	129(34.0)	6(1.6)

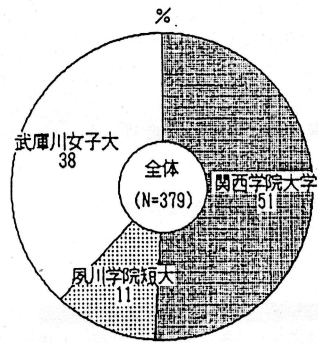
	肯定派	期待派	不明派	否定派	無回答	
全体	379(100.0)	142(37.5)	52(13.7)	50(13.2)	129(34.0)	6(1.6)
関西学院	194(100.0)	88(45.4)	25(12.9)	26(13.4)	51(26.3)	4(2.1)
夙川学院	40(100.0)	19(47.5)	3(7.5)	7(17.5)	10(25.0)	1(2.5)
武庫川	145(100.0)	35(24.1)	24(16.6)	17(11.7)	68(46.9)	1(0.7)



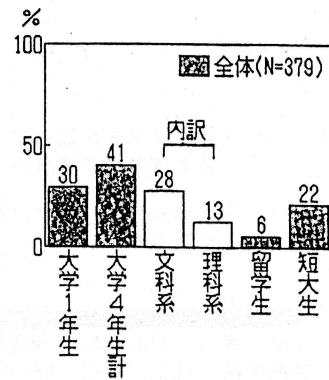
- ・肯定派に4年生、阪急利用者が多く、対照的に否定派に1年生、阪神利用者が多く見られたが、肯定派には、通学時間30分圏内の居住者も多いことから、市へのなじみの深さと肯定傾向に関連のあることが推察される。
- ・デート支出やその他の支出、アルバイト料が他のタイプに比べて高いことも特徴的である。

	肯定派	期待派	不明派	否定派
1年生	—	pp多い	多い	多い
4年生	多い	多い	pp多い	pp多い
阪急利用者	多い	多い	pp多い	pp多い
阪神	少ない	—	—	多い
30分通学圏	多い	多い	—	—
クラブ参加	多い	多い (特に文化系)	pp多い	pp多い
デート支出	多い	多い	—	—
その他支出	多い	—	—	—
平均アルバイト料	高い	—	—	—

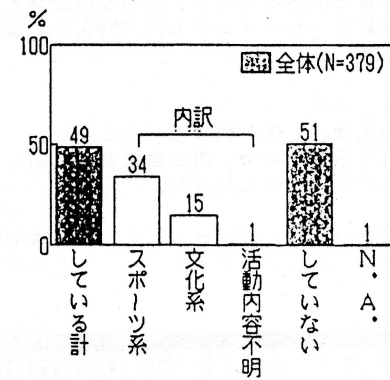
【 学 校 】



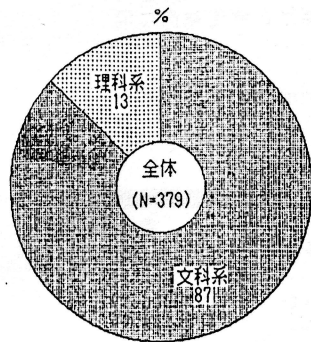
【 大学・学年・ 】



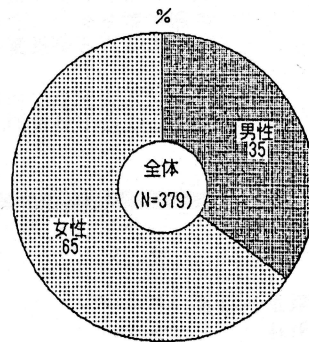
【 クラブ・サークル同好会活動の有無 】



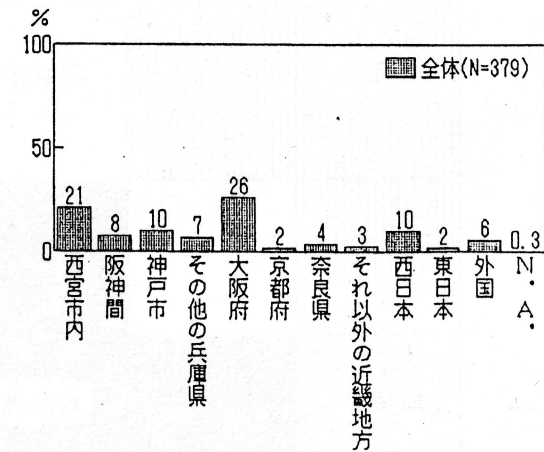
【 学 科 】



【 性 別 】

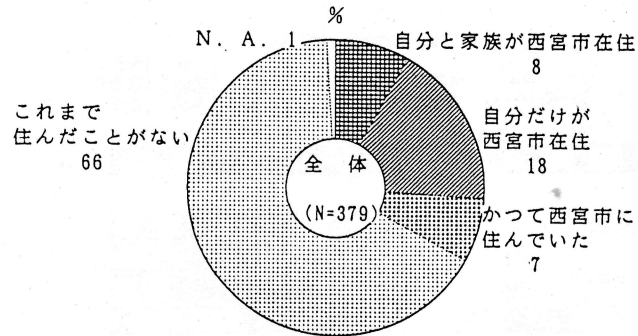


【 出身高校所在地 】

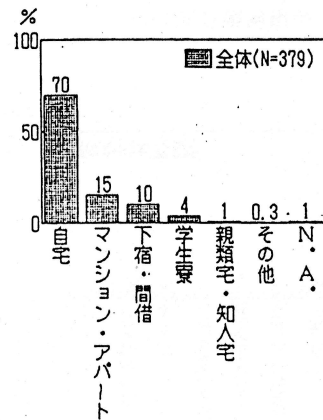


< 住まいに関する項目 >

【 西宮市居住経験 】

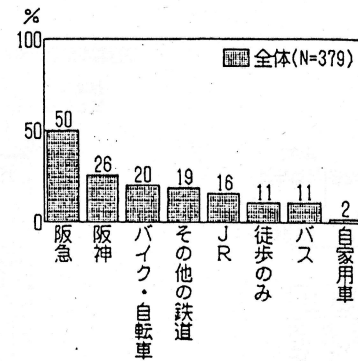


【 住居形態 】

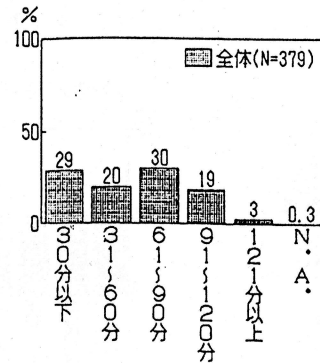


< 通学に関する項目 >

【 主な通学交通手段 】

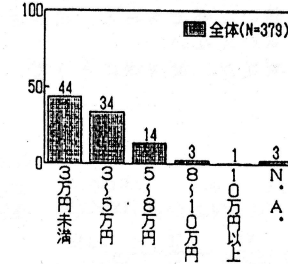


【 通学に要する時間 】

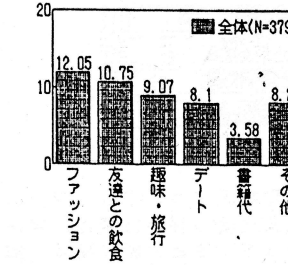


< 小遣いに関する項目 >

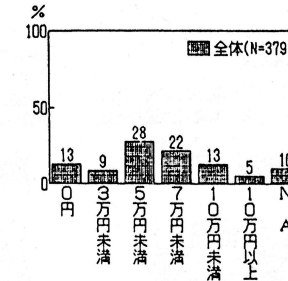
【 1ヶ月の小遣い 】



【 小遣いの平均支出 (千円/月平均) 】

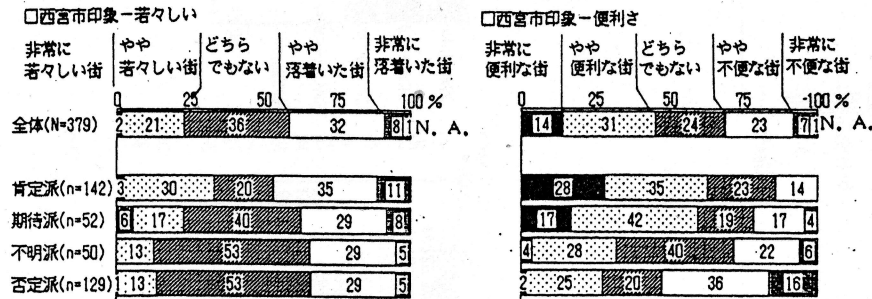


【 月平均アルバイト代 】

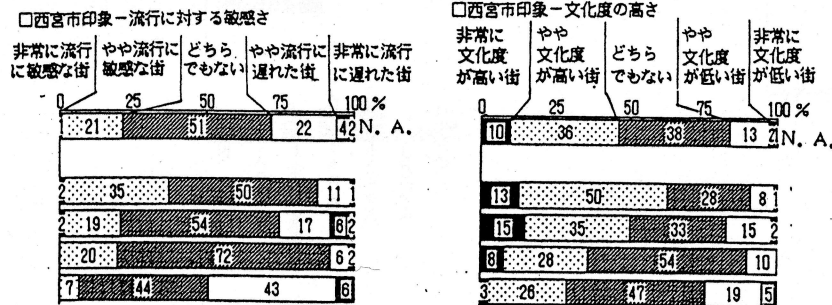


(2)肯定派と否定派の意識差

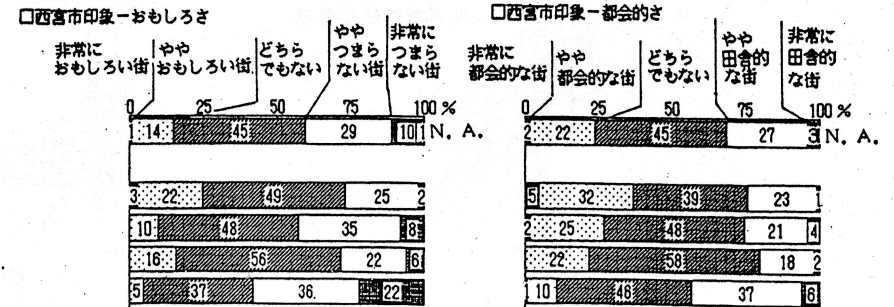
- ・肯定派と否定派の意識差を比較すると、以下のような差が特筆される。
- ▷若々しさ：肯定派にとっては、若々しい街であり、また落ち着いた街でもある。否定派にとっては、どちらともいえない。
- ▷便利さ：肯定派、期待派にとって、便利な街



- ▷流行度：肯定派については、流行に対して敏感な街である。
- ▷文化度：文化度の評価格差は、肯定派、否定派で大きい。
- ※肯定派にとってみると、阪神間は、関西で最も文化度の高い地域ともいえる。

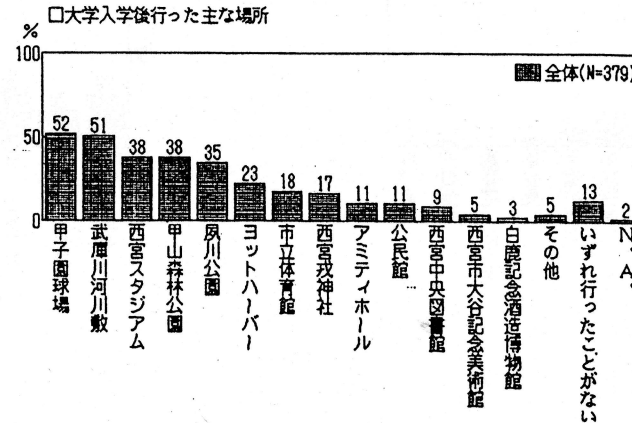


- ▷面白さ：肯定派には、面白い街という評価の人も比較的多い。
- ▷都会的：結局、この「都会的」に対する感覚の差が肯定、否定の分岐となっているのではないかと



(3)肯定派と否定派の行動差

- ・肯定派は阪神間の居住者が多く、また、4年生の比率の高いこともあって、市内の各施設への出向率は高い。



(5) 学生街の必要施設

・「学生街」に求められる施設も肯定派と否定派では格差が見られる。

▷まず、全体的に多いのは「学生が利用する飲食店街」「さまざまな学生割引」「学生のための下宿・マンション」「スポーツ・レジャー施設」「図書館・博物館」など

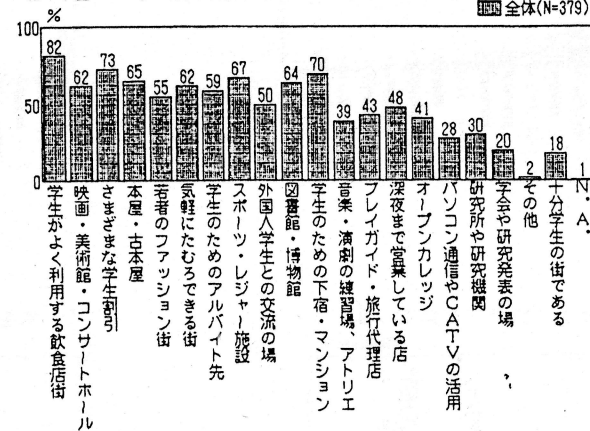
▷期待派では「気軽にたむろできる街」

▷否定派、不明派に共通するのは「若者のファッション街」「さまざまな学生割引」「映画・美術館・音楽ホール」「プレイガイド・旅行代理店」

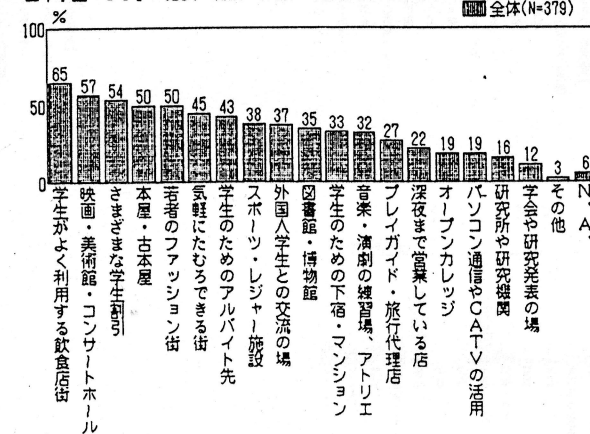
▷否定派のみに多いのが「外国の学生との交流の場」「CVSなどの深夜営業の店」「パソコン通信やCATV」など

▷なお、肯定派では、「今のままで十分学生街」と思う人も多い。

□「学生のまち」に必要な施設・雰囲気(一般)



□「学生のまち」に必要な施設・雰囲気(西宮市)

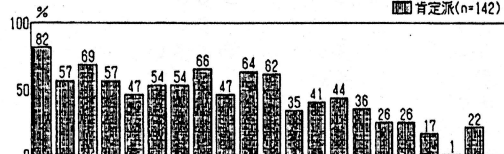


・その中で「特に、西宮に欲しいもの」としては、否定派の要望施設が多く、「一般的」と比べると、すべての項目にわたって要望度は薄れている。できれば欲しいが、補完できるため、それほどの切実度はないといえそうだ。

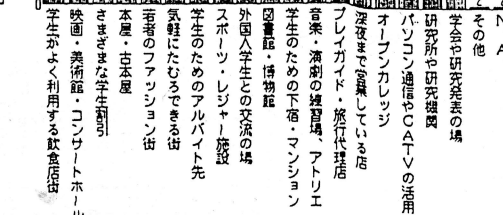
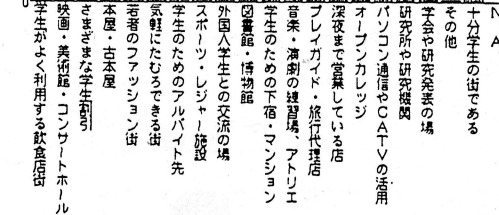
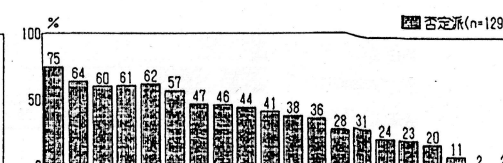
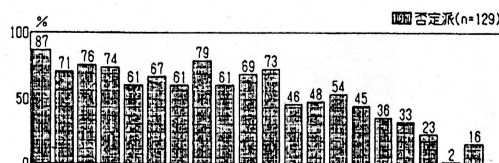
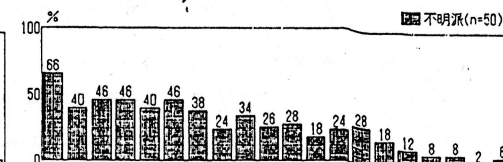
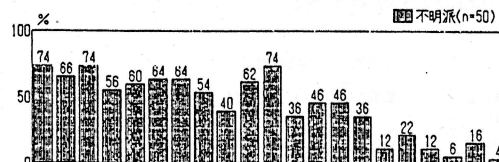
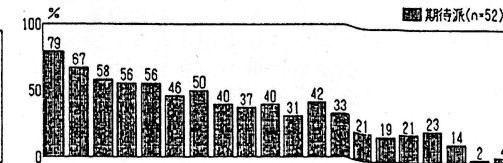
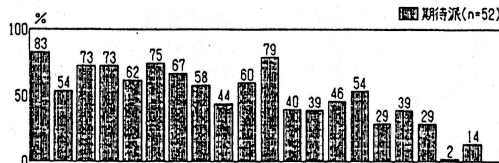
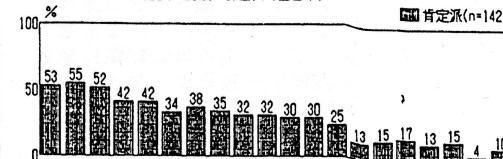
▷高い順に「学生が利用する飲食店街」「映画・美術・コンサートホール」「さまざまな学生割引」「本屋・古本屋街」「若者のファッション街」など

▷また、否定派に多い項目としては、「若者のファッション街」「本屋・古本屋街」「気軽にたむろできる街」「外国の学生との交流の場」「CVSなど深夜営業の店」「市民のオープンカレッジ」などがあげられている。

□「学生のまち」に必要な施設・雰囲気(一般)



□「学生のまち」に必要な施設・雰囲気(西宮市)



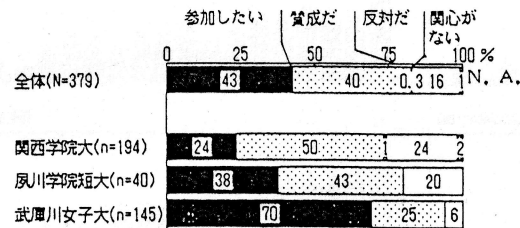
(6) 大学連携ニーズ

・大学と地域との連携ニーズは、全般に高いといえるが、大学別には、特に、武庫川女子大学において積極的な意向が高い。

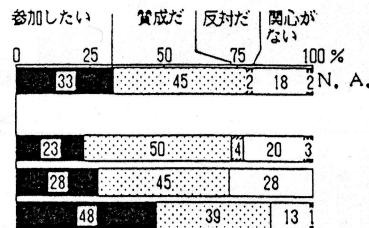
	関	学	夙	川	武	庫
▷他大学の講義への参加意向	—	pp	多い	多い	多い	多い
▷他大学との共同ゼミ参加意向	—	—	—	—	—	—
▷他大学講座の単位認定に賛成	多い	多い	多い	特に多い	多い	多い
▷図書的一般貸出に賛成	多い	多い	多い	多い①	多い	多い
▷施設的一般貸出に賛成	多い	多い	多い	多い①	多い	多い
▷講義への市民参加に賛成	多い①	pp	多い	多い	多い	多い
▷社会人講師講座への参加意向	pp	多い	—	—	—	—
▷ " " 参加経験	少ない	なし	なし	ほぼ全員	—	—
▷大学行事の市民参加に賛成	多い	多い	多い	多い	多い	多い
▷地域行事への参加意向	少ない	pp	多い	pp	多い	多い
▷10大学合同イベントに賛成	—	pp	多い	多い	多い	多い

・肯定派は、連携にやや否定的、保守的な傾向が強い。
期待派は、連携についても開放、積極的な傾向が強い。

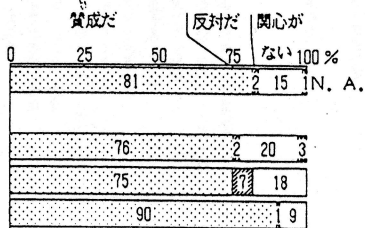
□他大学の講義聴講



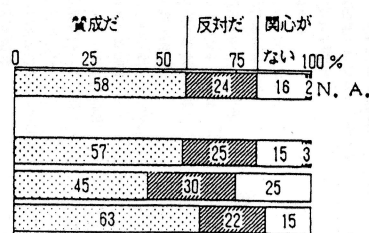
□他大学との共同ゼミ



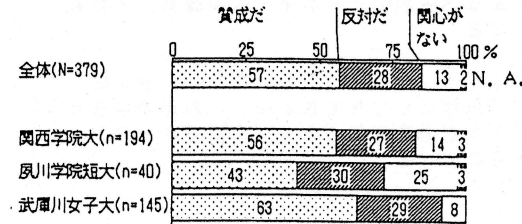
□他大学での聴講も単位認定



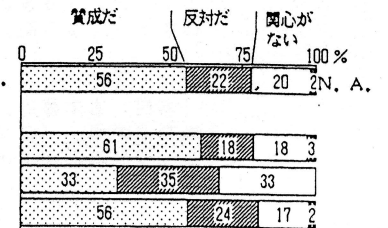
□大学図書を一般市民に貸出



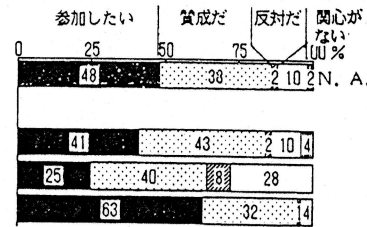
□大学施設の一一般市民への開放



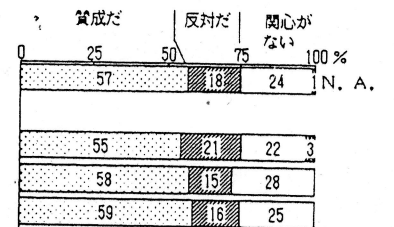
□大学講義の一一般市民の参加



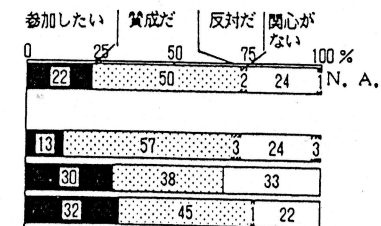
□表社会で活躍している人の講義



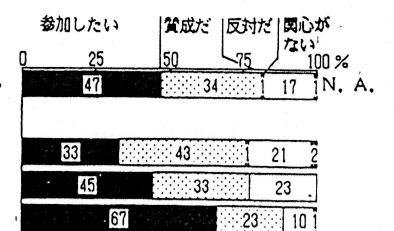
□大学行事を一一般市民と一緒にする



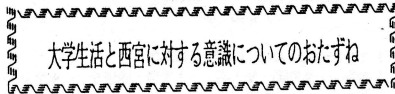
□地域行事への参加



□市内10大学合同イベント



【学生アンケート調査票】



大学生生活と西宮に対する意識についてのおたずね

アンケートのお願い

西宮市内には、あなたの大学以外に9の大学、短大があることをご存知でしょうか？
大都市を除いて、これだけの大学が集まっていることは全国でも珍しく、西宮市としては、大学と地域が、より連携した街づくりをめざして、現在、研究を進めているところです。つきましては、市内の大学に在学するみなさんのご意見をお聞かせいただき、計画づくりに反映させていきたいと考えております。

お手数ですが、ご協力をお願い申し上げます。

西宮市企画局

【問1】 まず、あなたと西宮とのかかわりについておたずねします。次の中からあてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1.自分も家族も西宮市に住んでいる 2.自分だけが西宮市に住んでいる
3.かつて西宮市に住んだことがある 4.これまで西宮市には住んだことがない

【問2】 それでは、西宮についての印象やあなたのお考えは、次にあげた、左右どちらのことばに近いですか？最も近い番号に○をつけてください。（1つだけ）

- 非常に やや どどめい やや 非常に
- (a)若々しい街 1. 2. 3. 4. 5. 落ち着いた街
(b)便利な街 1. 2. 3. 4. 5. 不便な街
(c)流行に敏感な街 1. 2. 3. 4. 5. 流行に遅れた街
(d)文化度が高い街 1. 2. 3. 4. 5. 文化度が低い街
(e)おもしろい街 1. 2. 3. 4. 5. つまらない街
(f)都会的な街 1. 2. 3. 4. 5. 田舎的な街
(g)今のまますべて保って欲しい街 1. 2. 3. 4. 5. 変化して欲しい街
(h)住み 1. 2. 3. 4. 5. 住みたくない街
(続け)たい街

【問3】 次にあげた市内の主な場所のうち、大学入学後、あなたが行ったことのあるものに、○をつけてください。（いくつでも）

- 1.甲子園球場 2.西宮スタジアム・球技場 3.アミティホール 4.白鹿記念酒造博物館
5.西宮市大谷記念美術館 6.西宮戎神社 7.甲山森林公園 8.ヨットハーバー
9.武庫川河川敷 10.夙川公園 11.西宮中央図書館 12.公民館 13.市立体育館
14.その他 () 15. いずれも行ったことがない

【問6】 他大学との交流、大学施設の開放について、あなたの考えは、どちらに近いですか？あてはまるものに○をつけてください。（1つだけ）

- 参加したい 賛成だ 反対だ 関心がない
- (a)他大学の講義を聴講できれば 1. 2. 3. 4.
(b)他大学との共同ゼミがあれば 1. 2. 3. 4.
(c)他大学での聴講も単位認定されることに 1. 2. 3. 4.
(d)大学の図書を一般の市民に貸し出すことに 1. 2. 3. 4.
(e)大学図書館の閲覧室などの大学施設を一般の市民に開放することに 1. 2. 3. 4.
(f)大学の講義に一般の市民が参加することに 1. 2. 3. 4.
(g)実社会で活躍した（している）人の講義に 1. 2. 3. 4.
(h)大学祭などの行事を一般市民と一緒にやることについて 1. 2. 3. 4.
(i)地域行事に大学として、あるいは、クラブやサークルで参加することに 1. 2. 3. 4.
(j)市内10大学の合同イベントがあれば 1. 2. 3. 4.

【問7】 問6の設問項目のうち、すでに交流や参加を経験したものがありますか？ あれば、その内容を具体的に教えてください。

- (a)他大学の講義聴講 1.経験あり () 2.なし
(b)他大学との共同ゼミ 1.経験あり () 2.なし
(c)他大学での聴講の単位認定 1.経験あり () 2.なし
(g)社会人講師の講義 1.経験あり () 2.なし
(i)地域行事への参加 1.経験あり () 2.なし
(j)合同イベント 1.経験あり () 2.なし

【問8】 あなたは、現在大学で学んでいること以外に、次のようなものを学びたいと思いますか？（現在学んでいるものも含む）あてはまるものに○をつけてください。（いくつでも）

- 1.ワープロ・パソコン 2.外国語 3.料理 4.茶道・華道 5.手芸
6.習字 7.美術・音楽・演劇 8.スポーツ 9.囲碁・将棋
10.その他 ()

【問9】 あなたは、地域活動（ボランティア活動も含む）への参加経験がありますか？既に経験のある人これから参加しようと思っている人は、どんなジャンルかもお知らせください。

- 1.ある 2.まだないが、今後参加したい 3.ない
——— どのジャンル ()

【問10】 地域への要望、街づくりや大学と行政との連携などについてのあなたの考えやご意見を、自由に記入ください。

.....

【問4】「学生のまち」という時、一般的にどのような施設や雰囲気が必要だと思いますか？ あなたが必要と思う項目のA欄に○をつけてください。また、西宮市において不足し、欲しいと思っているものがあれば項目のB欄に○を記入してください。(いくつでも)

- | | | |
|----------------------------------|-------------------|-------|
| | (A 欄) | (B 欄) |
| | (一般に) | (西宮に) |
| 1. 学生がよく利用する飲食店街 | () () | |
| 2. 気軽にたむろできる街 | () () | |
| 3. 本屋、古本屋街 | () () | |
| 4. 若者のファッション街 | () () | |
| 5. コンビニなど深夜まで営業している店 | () () | |
| 6. 市民に開かれたオープンカレッジ | () () | |
| 7. 外国の学生との交流の場 | () () | |
| 8. 体育館、スポーツ・レジャー施設 | () () | |
| 9. さまざまな学生割引 | () () | |
| 10. 学生のためのアルバイト先 | () () | |
| 11. パソコン通信やCATVの活用 | () () | |
| 12. 映画館や美術館、コンサートホール | () () | |
| 13. 音楽、演劇の練習場、美術などのアトリエ | () () | |
| 14. 研究所や研究機関 | () () | |
| 15. 図書館、博物館 | () () | |
| 16. 学会や研究発表の場 | () () | |
| 17. 学生のための下宿、マンション | () () | |
| 18. プレイガイド、旅行代理店 | () () | |
| 19. その他 | () () () | |
| 20. 市内に10も大学、短大があれば、それだけで十分学生の街だ | () | |

【問5】休日や授業が終わった後、学外であなたが行くことの多いのはどの街ですか？
下記の中から選び、よく行く順に上位3つまで番号を記入してください。

- | | | | |
|----------------------|-----|-----|-----|
| | 1 位 | 2 位 | 3 位 |
| (a) 友だちと喫茶店でおしゃべりする時 | () | () | () |
| (b) 友だちとレストランで食事する時 | () | () | () |
| (c) 友人とグループで飲む時 | () | () | () |
| (d) 本を買う時 | () | () | () |
| (e) ショッピングをする時 | () | () | () |
| (f) デートスポット | () | () | () |
| (g) アルバイトをする時 | () | () | () |

- | | | | |
|-------------|----------|---------|------------|
| 1. 西宮北口 | 2. 阪神甲子園 | 3. 阪神西宮 | 4. 夙川・香楽園口 |
| 5. その他の西宮市内 | 6. 芦屋 | 7. 宝塚 | 8. 岡本・六甲 |
| 9. 三宮・元町 | 10. 須磨 | 11. 十三 | 12. 梅田 |
| 13. 心斎橋・ナンバ | 14. 京都 | 15. () | 16. () |
| 17. () | | | |

◎最後にあなた自身のことについておたずねします。

【F1】 あなたの学部、学年、性別は？
() 学部・学科 () 年生 1.男 2.女

【F2】 あなたがお住まいの住居形態は？
1. 自宅 2. 親類・知人宅 3. 下宿・間借り 4. マンション・アパート
5. 学生寮 6. その他 ()

【F3】 主な通学交通手段は？
1. 阪急 2. JR 3. 阪神 4. その他の鉄道 5. バス 6. 自家用車
7. バイク・自転車 8. 徒歩のみ

【F4】 あなたが通学に要する時間は、片道どのくらいですか？
1. 30分以下 2. 31～60分 3. 61～90分 4. 91～120分 5. 121分以上

【F5】 あなたはクラブ・サークル・同好会活動をしていますか？
1. している 2. していない
1. スポーツ系 2. 文化系

【F6】 あなたの1ヶ月の小遣い(食費は除く)は、いくら位ですか？
1. 3万円未満 2. 3～5万円 3. 5～8万円 4. 8～10万円 5. 10万円以上

【F7】 小遣いの主な使い途は？
(a) 書籍 約 () 千円/月平均
(b) ファッション 約 () 千円/月平均
(c) 友達との飲食 約 () 千円/月平均
(d) デート 約 () 千円/月平均
(e) 趣味、旅行 約 () 千円/月平均
(f) その他 約 () 千円/月平均

【F8】 あなたの月平均アルバイト料は？
約 () 万円/月

【F9】 出身高校の所在地は？
1. 西宮市内 2. 阪神間(尼崎、芦屋、伊丹、宝塚、川西、三田) 3. 神戸市
4. その他の兵庫県 5. 大阪府 6. 京都府 7. 奈良県 8. 上記以外の近畿地方
9. 西日本 10. 東日本(近畿以东) 11. 外国 ()

◎どうも、ありがとうございました。

当調査についてのお問い合わせ先
西宮市企画局企画調整部(0798)35-3425

【平成4年西宮市民意識調査票】



あなたの声を市政に

西宮市民意識調査

市民の皆様には、日ごろから市政に対し格別のご理解とご協力をたまわりありがとうございます。

今年も「市民の声」を市政に反映させるため、20歳以上の市民の方々の中から無作為に選び出した皆様を対象に、この調査を実施させていただくことになりました。

今回は「市民と大学」をはじめ5つの項目について皆様方の率直なご意見をお聞きし、これからの市政運営の参考にしたいと考えています。

ご多忙のところ恐縮ですが、きたる1月31日までにご回答くださるようご協力のほどお願いいたします。

平成4年1月

西宮市長 八木米次

1 市民と大学について

西宮市では、「文教住宅都市宣言」を昭和38年に制定し、教育と文化の発展に力を入れています。

問1. あなたは、西宮市が「文教住宅都市宣言」をしていることを知っておられますか。

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 知らない

西宮市には、現在10の大学・短期大学があり、3万人以上の学生が学んでいます。西宮市は「大学のまち」といえます。

問2. あなたは、西宮市にこれだけの大学が集まっていることを知っておられますか。

1. 知っている
2. だいたい知っている
3. 知らなかった

問3. 西宮市にある大学や学生について、あなたは日頃どのように感じておられますか。項目ごとにそれぞれ1つずつ〇印をつけてください。

	よくあつう	まあいい	どうもい
1. 大学や学生によってまち全体に活気があつてよい	1	2	3
2. 大学のキャンパスや施設が周辺の景観にうるおいを与えている	1	2	3
3. 西宮市の文化の向上に役立っている	1	2	3
4. 西宮市の都市イメージ（印象）をよくしている	1	2	3
5. アルバイト学生がよい働き手となっている	1	2	3
6. 学生の態度や行動がよい影響を与えている	1	2	3
7. 下宿やマンション生活で、ごみを捨てるなど生活のルールが守られない	1	2	3
8. 違法駐車や交通騒音が多くなるなど地域の環境が悪くなる	1	2	3
9. 学生の生活や購買力がまちの経済をうるおしている	1	2	3

問4. 前問などを総合して、西宮市にとって大学や学生が多いのは良い面と悪い面のどちらが多いと思われますか。

1. 良い面の方が多い
2. 悪い面の方が多い
3. どちらともいえない

問5. あなたは、西宮市の大学や学生にどんなことを望まれますか。つぎの中から、重要と思われる順に3つ以内を選んで番号を記入してください。

一番目 二番目 三番目

1. 大学の施設（図書館、体育館、グラウンドなど）を市民に開放し、開かれた大学づくりをする
2. 市民向けの公開講座の充実
3. テレビなどをつつじた生涯学習講座や通信教育
4. 市民が大学の講義に出席できるようにする（聴講制度）
5. 法律相談など日常生活上の問題への専門的な助言
6. 学術・文化・スポーツによる市民との交流
7. ボランティアなどの地域活動を行う
8. 市民祭り、子供会などの地域の行事への参加
9. 学生が社会ルールを守るように教育する
10. 地元の店や施設をもっと利用する

問6. 西宮市は、市内の大学と積極的に協力しあって「まちづくり」を進めていきたいと考えています。あなたは、このことをどのように思われますか。

1. おおいに進めるべきである
2. 進め方がよい
3. とくに必要とは思わない
4. まったく必要ない
5. どちらともいえない
6. その他（ ）



【西宮市生涯学習市民意識調査より】

平成2年度に「西宮市生涯学習市民意識調査」（サンプル数3,769人）を行った。以下はその抜粋である。

(1) 「生涯学習」に対する意識

「あなたは、「生涯学習」を行うことは大切なことだと思いますか。」という質問に対して82.5% (3,109人) が『大切である』と答えており、西宮市民の生涯学習に対する意識の高さが見られると同時に、生涯学習に対するニーズが高いことが推測できる。

「あなたは、「生涯学習」を行うことは大切なことだと思いますか。」

	回答数	構成比 (%)
大切だと思う	3,109	82.5
大切だとは思わない	52	1.4
いちがいにいけない	500	13.3
無記入	108	2.9
合計 (3,769を100%とする)	3,769	100.0

「西宮市生涯学習市民意識調査」（平成2年度）より作成

(2) 「生涯学習」振興の方策

「あなたが、ここ1～2年の間に、「生涯学習」を何もしていない理由は何ですか。」という質問に対して、「忙しくて時間がとれない」13.0%、「続ける自信がない」7.9%、「健康上の理由」6.1%、「したいものの時間・時期があわない」5.2%、「家を空けることができない」4.6%と、時間上、家庭生活上の都合が上位をしめている。しかし、6位に「必要な情報（内容、講師、場所、経費など）が得られない」3.6%、9位に「したいものが近くで開かれていない」2.8%と、「生涯学習」に対する意識の高さに比べその情報不足が目立つ。

「あなたが、ここ1～2年の間、「生涯学習」を何もしていない理由は何ですか。」

	回答数	構成比 (%)
1. 忙しくて時間がとれない	88	13.0
2. 続ける自信がない	53	7.9
3. 健康上の理由	41	6.1
4. したいものの時間・時期があわない	35	5.2
5. 家を空けることができない	31	4.6
6. 必要な情報（内容、講師、場所、経費など）がえられない	24	3.6
7. 経費がかかりすぎる	24	3.6
8. 一緒にする友だちがいない	22	3.3
9. したいものが近くで開かれていない	19	2.8
10. 何もしたくない	14	2.1
11. 何をしてもよいかわからない	7	1.0
12. 内容がむずかしすぎる	6	0.9
13. その他	5	0.7
14. 家族や周囲の理解がえられない	5	0.7
15. 利用しやすい施設や場所がない	2	0.3
無記入	299	

「西宮市生涯学習市民意識調査」（平成2年度）より作成

(3)求められる情報

『あなたは「生涯学習」のためにどんな情報を希望されますか。』という質問に対して、1位「西宮市や県が主催する講座などの情報」43.6%、2位「市内にある文化、スポーツ、集会などの施設情報」11.5%、3位「資格、免許取得の方法や種類などの情報」7.0%となっており、『講座内容』『施設利用』『資格、免許取得』に対するニーズが高い。行政の行う講座に対する期待が大きい。これは、公共的に有益な内容（例えば環境問題、福祉問題など）や経費の問題で期待する部分が比較的大きいと推測される。

『あなたは「生涯学習」のためにどんな情報を希望されますか。』

	回答数	構成比(%)
1. 西宮市や県が主催する講座などの情報	1,642	43.6
2. 市内にある文化、スポーツ、集会などの施設情報	432	11.5
3. 資格、免許取得の方法や種類などの情報	262	7.0
4. 地域や団体が行う講座などの情報	176	4.7
5. 大学などが行う講座などの情報	176	4.7
6. サークル、グループに関する情報	174	4.6
7. 民間が行う講座などの情報	172	4.6
8. 講師や指導者の情報	102	2.7
9. 通信教育、各種学校、専修学校塾の情報	85	2.3
10. 他都市が主催する講座などの情報	43	1.1
11. 他都市にある文化、スポーツ、集会などの施設情報	21	0.6
12. その他(具体的に)	6	0.2
無記入	478	12.7

「西宮市生涯学習市民意識調査」(平成2年度)より作成

(4)求められる施策

『「生涯学習」をすすめていくうえで、今後どのような施策が必要だと思いますか。』という質問に対して、1位「公立の文化、スポーツ、集会などの施設の充実」43.8%、2位「企業の厚生施設(グラウンドやテニスコートなど)の開放」6.5%、3位「指導者、講師、リーダーの育成」6.4%、5位「学校施設の開放」5.6%と、『既存施設の充実、開放等による利用機会をふやす』や『核となる人材の育成』に対するニーズが高い。

『「生涯学習」をすすめていくうえで、今後どのような施策が必要だと思いますか。』

	回答数	構成比(%)
1. 公立の文化、スポーツ、集会などの施設の充実	1,649	43.8
2. 企業の厚生施設(グラウンドやテニスコートなど)の開放	244	6.5
3. 指導者、講師、リーダーの育成	242	6.4
4. 勤務時間や授業時間を短縮して余暇時間をふやす	213	5.7
5. 学校施設の開放	212	5.6
6. 文化やスポーツなどの講座、イベントなどの充実	201	5.3
7. 大学などの公開講座や聴講の機会をふやす	171	4.5
8. 能力や経験を生かす機会や場をふやす	140	3.7
9. 生涯学習についての情報提供や相談窓口の充実	119	3.2
10. グループやサークルなどの助成	50	1.3
11. 地域・社会活動の充実	47	1.2
12. テレビやファックスなどを活用して学べる機会をふやす	31	0.8
13. 電話やパソコン通信、有線テレビ(CATV)などでの案内	25	0.7
14. その他	14	0.4
無記入	411	10.9

「西宮市生涯学習市民意識調査」(平成2年度)より作成

(5)求められる内容

「これから新たにしてみたい」ことがらは何かという質問に対して、「環境保全の活動（川を美しくする会など）」41.8%、「社会福祉活動（福祉ボランティアなど）」37.4%、「社会奉仕の活動」36.8%、「地域社会や郷土の歴史など」35.4%と、社会的奉仕に関するものに対するニーズが高い。

ちなみに、「この1～2年の間にしたことがある・今も続けている」ことがらの上位は、「旅行、ドライブ、見学会など」18.6%、「球技（テニス、野球、ゴルフなど）」11.3%、「音楽、美術、絵画、書道、写真など」10.2%、「健康や保健衛生」9.2%、「野外活動（釣り、ハイキング、キャンプなど）」9.1%となっている。

また、「かつてしたことがある」ことがらの上位は、「茶・華道など」25.8%、「野外活動（釣り、ハイキング、キャンプなど）」25.2%、「和・洋裁、着付け、編み物、手芸、作法など」24.4%、「スキー、水泳、マラソン、ジョギングなど」24.0%となっている。

「かつてしたことがある」や「今も続けている」ことがらの多くは、レジャー、スポーツ、野外活動や、習い事といわれるような、娯楽や生活上の実益につながる事が多い。それに対して、「これから新たにしてみたい」ことがらは、自分個人の楽しみや利益よりも、自分をとりまく地域や社会への貢献を重視した活動への参加意向へと価値観の変化や意識の高まりが感じられる。

「これから新たにしてみたい」ことがら

	回答数	構成比 (%)
1. 環境保全の活動（川を美しくする会など）	1,272	41.8
2. 社会福祉活動（福祉ボランティアなど）	1,139	37.4
3. 生計（家計、ライフプラン）、老後の生活設計	1,136	37.3
4. 社会奉仕の活動	1,118	36.8
5. 地域社会や郷土の歴史など	1,077	35.4
6. 自然科学（バイオ、野鳥・星の観察など）	1,069	35.1
7. 法律、政治、経済や時事問題	1,048	34.5
8. 商業や経営	977	32.1
9. 園芸、盆栽、菜園など	961	31.6
10. 防災や防犯	952	31.3
11. コンピュータ、パソコン	946	31.1
12. 外国語（話し方や手紙）	929	30.5
13. 人権・平和問題	910	29.9
14. 囲碁、将棋など	901	29.6
15. 健康や保健衛生	896	29.5
16. 文学（俳句、短歌など）、歴史哲学、宗教	858	28.2
17. 日本語（話し方や手紙）	848	27.9
18. 舞踊、演劇、民族芸能、映画など	822	27.0
19. 体操（エアロビクス、ヨガなど）	812	26.7
20. 医療や看護	807	26.5
21. 秘書、通訳、ガイド	791	26.0
22. タイプ、ワープロ	777	25.5
23. 地域団体の活動（自治会、PTAなど）	728	23.9

【大学連携事例】

No.	内 容	行政/大学/参加団体
1	建築工学科の大学生が未来構想をまとめ、20階建ての空中劇場を提案 (910613)	大阪市 大阪大学 戎橋商店街
2	行政・経営者リーダーの参加するオムニバス講義、「経済と社会」を開講 (910306)	福岡市, 北九州市 福岡大学 福岡銀行, 九州電力 ^等
3	大井川町出身者(大学生を含む)にインタビューしたビデオを編集、上映。住民と有識者の声を加えて全戸に配付。 (901120)	大井川町(静岡県) パソコン情報デザイン研究所
4	学生ラグビーのメッカとして、「ラグビー博物館」建設など、ラグビーを街づくりの顔とする。 (901029)	東大阪市 東大阪青年会議所
5	デザイン名古屋ショーウィンドーコンペ90の「ヤング・デザイナーズ・ステージ」開催 (901019)	名古屋市 名古屋造形短大 ^等 専門学校 東海銀行, 中央信託銀行 ^等
6	「街をつくろう」のテーマで新卒リクルート広告北九州市の「北九州ルネサンス計画」に指定されたポスターフロント開発をアピール (900722)	北九州市 井筒屋百貨店
7	大学のもつ年間1,000億円の経済効果を、市最大の資源とみて、連絡協議会を結成 (910724)	金沢市 7大学, 6短大, 2高専 金沢経済同友会
8	渋谷、六本木に対抗すべく、米西海岸のUCLA P U B、南C A Lの3大学を視察 (900507)	新宿区 早稲田大学 大学周辺5商店街
9	料理教室、音楽会、ワープロを通じて、アジア留学生らと海外交流 (891007)	福岡市 公民館125館(日本一)

No.	内 容	行政/大学/参加団体
10	MM21事業に大学生がデザインを提出 (881021)	横浜市 多摩美大
11	アーケードのシャッターに、大学生がフリーペインティング (880721)	板橋区 多摩美大 大山商店街
12	大学生を単なる消費者でなく、街づくりの担い手として参加を呼びかけ (880715)	八王子市 駅北口商店街
13	留学生を集め、街の国際化を推進 (880225)	高崎市 高崎経済大学 高崎財務事務所地域振興室
14	在学生の病気やケガに対する「学生保険」を新設 (871122)	八王子市 中央大学 ^等 21大学, 短大 八王子大学連絡協議会
15	炭鉱の街を脱皮し、若者や研究者が定着する学園都市づくりに大学生を参加させる 尼崎の「つかしん」がモデル (870612)	飯塚市 近畿大学九州工学部 ^等 飯塚青年会議所 ^等
16	学生、教師、市民が交流する「学園都市センター(仮)」建設予定 (870606)	八王子市 中央大学 ^等 21大学, 短大 八王子大学連絡協議会
17	茗荷谷、教育の森を中心とした再開発構想 (870503)	文京区 お茶の水大, 拓殖大, 跡見 文京区地域整備基本計画審
18	全大学合同の学園祭を地元商店街、百貨店と台同で実施 (861023)	八王子市 中央大学 ^等 21大学, 短大 台同学園祭実行委員会

No.	内 容	行政/大学/参加団体
19	日立駅前再開発事業の核として、県内在住の外国人教師、留学生のシンポジウムを開催 (860626)	日立市
20	留学生と市民が交流する国際文化フォーラムを開催 環境庁のアメニティタウン計画の第一歩 (851213)	荒川区 千葉大学
21	地元中小企業を支援する国際産業総合大学の設立、国際技術見本市の開催をめざしてユースサミットを開催 (851205)	北九州市 北九州大学、産業医大 市教育委員会 ^等
22	福岡市民と学生が組んだ街づくりシンポジウム「ふくおか市民ワークショップ」を開催 (851102)	福岡市 九州大学、福岡大学 ^等 ふくおか21世紀プラン懇談会
23	大学の公開講座、受験生向けパンフ作成や学生団体の文化事業、学生まつりなどに助成金 (910718)	京都市 38大学、短大 大学事務連絡協議会
24	勤め帰りの人を対象に、駅周辺の企業施設を借りて市が出前講座を開催 (910509)	伊丹市 大手前短大 伊丹市生涯学習推進専門委

College Town Nishinomiya